





第3.0版



# <u>指紋認証システム導入ガイド</u>

指紋認証システムセットを導入するには、「指紋センサドライバ」と「OmniPass(指紋認証ソフトウェア)」のインストールが必要です。

下表にしたがい、<u>指紋センサドライバのインストール</u>を行ってから、<u>OmniPass のインストール</u>を行ってください。

## ■ SREX-FSU1G をご利用の場合 ■

OS	指紋センサドライバのインストール	OmniPass のインストール
Windows 7	⇒ 16頁へ	
Windows Vista	⇒ 18頁へ	⇒ 33 頁へ
Windows Server2008		(OmniPass のインストール後は
Windows XP	⇒ 21 頁へ	「3-2. OmniPass ユーザ登録」へ
Windows Server2003		進んでください。)
Windows 2000	⇒ 21 頁へ	⇒ 74 頁へ
		(OmniPass のインストール後は
		「6-2. OmniPass ユーザ登録」へ
		進んでください。)

## ■ SREX-FSU2 をご利用の場合 ■

OS	指紋センサドライバのインストール	OmniPass のインストール
Windows 7	⇒ 23 頁へ	
Windows Vista	⇒ 25 頁へ	⇒ 33 頁へ
Windows Server2008		(OmniPass のインストール後は
Windows XP	⇒ 29 頁へ	「3-2. OmniPass ユーザ登録」へ
Windows Server2003		進んでください。)

### 第1章 はじめに

1-1.製品の特徴	5頁
1-2.安全にお使い頂くために	10頁
1-3 製品に関するお問い合わせ	13頁

### 第2章 準備

2-1.マニュアルの構成	14頁
2-2.SREX-FSU1G インストール	16頁
■Windows 7インストール	
■Windows Vista/Server2008 インストール	
■WindowsXP/2000/Server2003 インストール	
2-3.SREX-FSU2 インストール	23頁
■Windows 7インストール	
■Windows Vista/Server2008 インストール	
■WindowsXP/Server2003 インストール	
2-4.Windows ログオンパスワード作成	31 頁
第3章 登録 (Windows 7/Vista/XP/Server2008/Server2003)	

## 3-1.0mniPass インストール 33 頁 ■0mniPass のインストール

■OmniPass のアンインストール	
3-2.0mniPass ユーザ登録	37頁
■OmniPass ユーザ登録	
■OmniPass 認証ダイアログ	

### 第4章 使用 (Windows 7/Vista/XP/Server2008/Server2003)

4-1.アカウント情報の記憶	42頁
■Web ログオンパスワードの記憶	
■アプリケーションログオンパスワードの記憶	
■ID の管理	
4-2.暗号化と復号化	51頁
■暗号化	
■復号化	
■暗号化ファイルの共有	

5-1.ユーザの追加と削除	56頁
■ユーザの追加	
■ユーザの削除	
5-2. アカウント情報の管理	58頁
	60頁
■ユーザプロファイルの復元	
5-4.0mniPass コントロールセンタその他の設定	64頁
■認証デバイスの必須設定	
■強カログオンセキュリティを有効にする(WindowsXPのみ)	
■緊急ポリシーオーバーライド機能を有効にする	
■OmniPass へのログオン設定	
■暗号化/復号化の設定	
■サウンド設定	
■タスクバーヒントの設定	
■認証ウィンドウの設定	
第6章 登録 (Windows 2000)	
6-1.0mniPass インストール	74 頁
6-1.0mniPass インストール ■OmniPass のインストール	74 頁
6-1.0mniPass インストール ■OmniPass のインストール ■OmniPass のアンインストール	74頁
6-1.0mniPass インストール ■OmniPass のインストール ■OmniPass のアンインストール 6-2.0mniPass ユーザ登録	74 頁 78 頁
6-1.0mniPass インストール ■OmniPass のインストール ■OmniPass のアンインストール 6-2.0mniPass ユーザ登録 ■OmniPass ユーザ登録	74 頁 78 頁
6-1.OmniPass インストール ■OmniPass のインストール ■OmniPass のアンインストール 6-2.OmniPass ユーザ登録 ■OmniPass ユーザ登録 ■OmniPass へのログオン	74 頁 78 頁
6-1.OmniPass インストール ■OmniPass のインストール ■OmniPass のアンインストール 6-2.OmniPass ユーザ登録 ■OmniPass ユーザ登録 ■OmniPass へのログオン	74 頁 78 頁
6-1.0mniPass インストール ■OmniPass のインストール ■OmniPass のアンインストール 6-2.0mniPass ユーザ登録 ■OmniPass ユーザ登録 ■OmniPass へのログオン 第7章 使用 (Windows 2000)	74頁 78頁
6-1.OmniPass インストール ■OmniPass のインストール ■OmniPass のアンインストール 6-2.OmniPass ユーザ登録 ■OmniPass ユーザ登録 ■OmniPass へのログオン 第7章 使用 (Windows 2000) 7-1.アカウント情報の記憶	74頁 78頁 84頁
<ul> <li>6-1.OmniPass インストール</li> <li>OmniPass のインストール</li> <li>OmniPass のアンインストール</li> <li>6-2.OmniPass ユーザ登録</li> <li>OmniPass ユーザ登録</li> <li>OmniPass ヘのログオン</li> </ul> 第7章 使用 (Windows 2000) 7-1.アカウント情報の記憶 Web ログオンパスワードの記憶	74 頁 78 頁 84 頁
6-1.OmniPass インストール         ■OmniPass のインストール         ■OmniPass のアンインストール         6-2.OmniPass ユーザ登録         ■OmniPass ユーザ登録         ■OmniPass へのログオン         第7章 使用 (Windows 2000)         7-1.アカウント情報の記憶         ■Web ログオンパスワードの記憶         ■アプリケーションログオンパスワードの記憶	74頁 78頁 84頁
6-1.OmniPass インストール         ■OmniPass のインストール         ■OmniPass のアンインストール         6-2.OmniPass ユーザ登録         ■OmniPass ユーザ登録         ■OmniPass ヘのログオン         第7章 使用 (Windows 2000)         7-1.アカウント情報の記憶         ■Veb ログオンパスワードの記憶         ■アプリケーションログオンパスワードの記憶         ■D の管理	74頁 78頁 84頁
6-1.0mniPass インストール         ■OmniPass のインストール         ■OmniPass のアンインストール         6-2.0mniPass ユーザ登録         ■OmniPass ユーザ登録         ■OmniPass へのログオン         第7章 使用 (Windows 2000)         7-1.アカウント情報の記憶         ■Web ログオンパスワードの記憶         ■アプリケーションログオンパスワードの記憶         ■D の管理         7-2.暗号化と復号化	74頁 78頁 84頁 92頁
6-1.OmniPass インストール         ■OmniPass のインストール         ■OmniPass のアンインストール         6-2.OmniPass ユーザ登録         ■OmniPass ユーザ登録         ■OmniPass ヘのログオン         第7章 使用 (Windows 2000)         7-1.アカウント情報の記憶         ■アプリケーションログオンパスワードの記憶         ■Dの管理         7-2.暗号化と復号化         ■暗号化	74頁 78頁 84頁 92頁
6-1.0mniPass インストール         ■OmniPass のインストール         ■OmniPass のアンインストール         6-2.0mniPass ユーザ登録         ■OmniPass ユーザ登録         ■OmniPass へのログオン         第7章 使用 (Windows 2000)         7-1.アカウント情報の記憶         ■アプリケーションログオンパスワードの記憶         ■アプリケーションログオンパスワードの記憶         ■D の管理         7-2.暗号化と復号化         ■6号化         ■復号化	74頁 78頁 84頁 92頁

3頁

### 第8章 管理と設定 (Windows 2000)

	8-1.ユーザの追加と削除	97頁
	■ユーザの追加	
	■ユーザの削除	
	8-2.アカウント情報の管理	99頁
	8-3.インポートとエクスポート	101頁
	■ユーザのエクスポート	
	■ユーザのインポート	
	8-4.OmniPass コントロールセンタその他の設定	104頁
	■認証デバイスの必須設定	
	■暗号化/復号化	
	■サウンド設定	
	■タスクバーヒントの設定	
第S	9章 付録	
	9-1.アプリケーション API	109頁
	■OmniPass 認証サンプルプログラム概要	
	■API 呼び出し方法	
	■API インターフェイス仕様	
	9-2.トラブルシューティング	116頁
	■OmniPass ログオン画面が表示されない	
	■OmniPass ユーザの追加ができない	

■ブランクパスワードのユーザを OmniPass に追加できない



1-1. 製品の特徴

本章では SREX-FSU1G および SREX-FSU2 指紋センサおよび付属ソフトウェアの製品の特徴と使用上の注意点について説明しています。

## SREX-FSU1G について

※本製品[SREX-FSU1G]は、前製品である[SREX-FSU1]の後継製品です。 双方は、指紋センサ内部の仕様が同一であり、同じドライバソフトウェアおよび、アプリケーション ソフトウェアがご使用いただけます。そのため、本ユーザーズマニュアル本分で引用しておりますイ ンストール画面などで[SREX-FSU1]と表記されている箇所がありますが、ご使用上問題ありませ ん。

### ■使いやすく軽量コンパクト

指紋センサに富士通製静電容量式半導体センサ 256×300 ピ クセルを搭載。小型でありながらセンサ面が大きく、自然に指を 置くことができ、使いやすいデザインになっています。 また、接続ケーブルは指紋センサ本体から取り外せるセパレート 式で、ケーブルの取りまわしが良く、持ち運びもコンパクトに扱 えます。



### ■確実な個人認証が可能

指紋認証エンジンに最新のバイオメトリクス技術「特徴点相関方式」を採用。さらに、認証しづら い指紋に対して形状特徴を追加して照合を行う(適応型形状相関法)ことにより、本人受理率99.96% 以上、他人受理率0.0002%以下の高性能な指紋識別能力を実現しました。また、指紋データは暗号 化された非可逆性データで実際の指紋画像には戻せませんので、プライバシー保護も万全です。

「特徴点相関方式」の概念 隆線は指紋の模様を形成する皮膚の盛り上が った部分になり、特徴点には隆線が止まって いる部分(端点)と隆線が分岐している部分 (分岐点)があります。特徴点相関方式では 端点と分岐点のデータのみを使いますので、 指紋データが記録されることはありません。



## SREX-FSU2 について

### ■使いやすく軽量コンパクト

本製品は Validity 社の LiveFlex テクノロ ジ(高パフォーマンス・耐久性を持つセンサを 開発する基盤技術)を採用し、高い信頼性・耐 久性を実現したスワイプタイプの指紋センサ です。

46.0(W)×64.5(L)×13.0(H)mm/約 40g と小型・軽量で、指をスライドさせるのに最適 なサイズとなっています。

また、接続ケーブルは指紋センサ本体から取 り外せるセパレート式で、ケーブルの取りまわ しが良く、持ち運びもコンパクトに扱えます。



### ■真皮指紋認証

SREX-FSU2 は高周波 RF センシング機構 により、表皮より約 0.5mm 下の真皮指紋を 立体的に読み取ることで、「乾燥指」「しめった 指」「荒れた指」「傷のある指」など、指表面の 状態にほとんど左右されず、高い読み取り精度 を実現します。



### ■耐久性

指が直接センサ面に触れないプラスチックフィルムセンサを採用している為、指の接触・衝撃・静電 気に高い耐久性を発揮します。

### 認証ソフトウェアのデファクトスタンダード OmniPass7.0 採用

SREX-FSU1G および SREX-FSU2 指紋センサと OmniPass を統合することにより、コンピュータ、アプリケーション、Web サイト、その他のパスワードで保護されたリソースへのアクセスを制限 する強固なセキュリティ認証システムの実現が可能です。OmniPass は下記の機能を提供します。

●指紋認証による Windows ログオン 指紋認証により Windows にログオンします。ユーザ名とパスワードを入力する必要はありません。 スタンバイからの復帰時、パスワード対応スクリーンセーバーロックの解除時も指紋認証によるロ グオンが可能です。

●ファイルの暗号化と共有

ファイルもしくはフォルダを選ぶだけで指紋認証を使ったファイルの暗号化と復号化を行うこと ができます。個人情報、機密情報のセキュリティ保護を行うことができます。 暗号化したファイルを他のユーザと共有する機能も提供しています。

●アカウント情報の管理

アカウント情報を要求する Web サイトやアプリケーションのアカウント情報(ユーザ名やパスワード)を無制限に記憶させることができます。一度 OmniPass にアカウント情報を記憶させることにより、以後指紋認証を利用してログオンすることが可能になります。複数のアカウント情報を覚えておくことができ、毎回入力する必要はありません。

- ●一台のパソコンを複数のユーザで利用することが可能 複数ユーザの指紋を登録し利用することができます。暗号化ファイルの共有設定も可能です。
- ●ユーザ作成アプリケーションから認証呼び出し

ユーザが作成したアプリケーションプログラムに OmniPass 指紋認証ダイアログを呼び出すための API を公開しています。簡単に指紋認証を組み込むことができます。

●SREX-FSU1GとSREX-FSU2の共存

SREX-FSU1G 指紋センサと SREX-FSU2 指紋センサの共存が可能で、両センサが接続されている場合、どちらでも認証することが可能です。

(ただし、それぞれのセンサで登録したデータに互換性はありませんので、登録した指紋センサで認証してください。)

## ■パッケージの内容

本製品のパッケージには、次のものが同梱されています。不足の場合は、お手数ですが販売店または 弊社サポートセンターまでご連絡ください。

- O SREX-FSU1G もしくは SREX-FSU2 指紋認証装置
- O USB ケーブル(約 1m)
- O セットアップディスク (CD-ROM)
- インストールガイド
- 保証書

## ■ OmniPass7.0/3.0 製品仕様

対応 OS	Windows 7/Windows Vista/Windows XP
	Windows Server2008/Windows Server2003
	Windows 2000 (OmniPass3.0) [※ SREX-FSU1G のみ対応]
	▲ ビット OS には対応していません。
対応ブラウザ	Internet Explorer 6.0以上 / Firefox 3.0以上
	[OmniPass3.0 では Internet Explorer5.0/6.0 のみに対応。]

## ■SREX-FSU1G 製品仕様

製品名	USB 指紋認証装置(USB Fingerprint Sensor)
型番	SREX-FSU1G
指紋センサ	静電容量式半導体センサ
	センサエリア:12.8mm×15mm
	解像度 :500dpi
インターフェイス	USB1.1
電源仕様	USB バスパワーデバイス
消費電流	動作時:20mA(typ.) 非動作時:10mA(typ.)
	サスペンド時:300uA
保証動作環境	温度:5~35℃ 湿度:20~80%
外形寸法・重量	40mm×68mm×25mm 約 50g(USB ケーブル含まず)
USB ケーブル長	約 1m(着脱可能)
対応 OS	Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows 2000
	Windows Server2008/Windows Server2003
	⚠️ 64 ビット OS には対応していません。

## ■SREX-FSU2 製品仕様

製品名	USB 指紋認証装置(USB Fingerprint Sensor)
型番	SREX-FSU2
指紋センサ	RF 方式 真皮 3-D センシング型スワイプセンサ(Validity 社 VFS201)
	センサエリア:約 14mm×3mm
	解像度 : 508dpi
	256 レベルグレイスケール 8Bit/pixel
インターフェイス	USB2.0 Full Speed Compliant
電源仕様	USB バスパワーデバイス
消費電流	動作時:60mA(typ.) 非動作時:20mA(typ.)
	サスペンド時:300uA
ESD 耐圧	±15kV(IEC610004-2 Level4)
保証動作環境	温度:0~70℃ 湿度:20~80%
外形寸法・重量	46.0(W)×64.5(L)×13.0(H)mm 約 40g(USB ケーブル含まず)
USB ケーブル長	約 1m(着脱可能)
対応 OS	Windows 7/Windows Vista/Windows XP
	Windows Server2008/Windows Server2003
	▲ 64 ビット OS には対応していません。



## 1-2. 安全にお使い頂くために

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本マニュアルでは、いろいろな表示をしています。これは、本製品を安全に正しくお使いいただき、 あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するために目安となるもので す。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、お読みください。

8	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、データを失ったり、機密を要するデー
	タが公開されたり、システムへのアクセスを拒否される等の危険があります。
Â	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本製品の機能が損なわれ、本マニュア
	ルに記載された手順通りの動作ができなくなる可能性があることを示しています。

## ご使用上の注意事項

### ■接続時のご注意

- ①1 台のパソコンに同一の指紋センサを複数接続しないでください。
- ②USB ハブに接続して使用する場合は、セルフパワー電源タイプ(AC アダプタなどで電源が供給されるタイプ)のハブに接続し、直列接続は2段以内にしてください。
- ③他社製の指紋センサがインストールされている場合は、そのソフトウェアをアンインストールしてから本指紋センサを接続してください。

④指紋認証中に本指紋センサの取り外しを行わないでください。

### SREX-FSU1G 使用時のご注意

■SREX-FSU1G 指紋登録時・照合時のご注意

①指の状態が以下のような場合には指紋の登録や照合が困難になったり、照合率が低下したりする ことがあります。

- ・ 汗や脂が多い
- ・ 手が荒れている、または極端に乾燥している
- ・ 指に傷がある、または摩耗して指紋が薄い
- ・ 急に太ったり、やせたりして指紋が変化した

手を洗う、手を拭く、登録する指を変えるなどお客様の指の状態に合わせて対処することで、 状況が改善されることがあります。

②指紋の登録や照合を行うときは、センサに正しく指を置いてください。

■SREX-FSU1G 指の置き方について

本指紋センサの認識率や照合率の精度を保つために、下図①を参考に指を置いてください。指の 腹(指紋の中心部)をセンサの中央に置きます。下図②は指の置き方の悪い例になります。指を斜 めに置いたり、指の一部しかセンサに触れていなかったりすると正確に指紋が読み取れません。



図①指の腹の中央をセンサに密着させる

図②.指の一部しかセンサに触れていない

(E)

指紋サンプル例

●正しく読み取られた指紋



●読み取り時に問題のある指紋



(D)

(A) (B) (A) 指を奥に置きすぎている

(B) 指を手前に置きすぎている

(C) 指がセンサの右側にずれている

(D) 指の押しかたが弱い

(E) 指が立っている

●読み取れない指紋



(B)

(A)

(C)

(A) 指が乾きすぎている

(B) 汗が多すぎる

(C) 指が摩耗している

### SREX-FSU2 使用時のご注意

■SREX-FSU2 指のスライド方法について

本指紋センサの認識率や照合率の精度を保つために、下図①を参考に指を置いてください。指の 第1関節部あたりからスライドさせます。

下図②は指の置き方の悪い例になります。指を斜めに置いたり、指の一部しかセンサに触れてい なかったりすると正確に指紋が読み取れません。



図①.指の第1関節部あたりからスライド

### <u>その他のご注意</u>

 $\Lambda$ 

∕♪

Æ

A

Â

 $\wedge$ 

×

×

図②.指の一部しかセンサに触れていない

- ①指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ②本製品はパソコン用周辺機器として設計されております。人命に関わる用途、または 高度な信頼性、安全性を要する用途での使用は考慮されておりません。このような用 途で使用される設備、機器、システム等への組み込みは避けてください。

③本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。

また、本書の内容につきましては万全を期して作成しましたが、万一不審な点や誤り などお気づきになりましたらご連絡願います。

④本製品は日本国内仕様となっており、海外での保守およびサポートは行っておりません。

⑤本製品は電子機器ですので、静電気を与えないでください。

- ⑥ラジオやテレビ、オーディオ機器の近く、モータなどノイズを発生する機器の近くで は誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
  - ⑦高温多湿の場所、温度差の激しい場所、チリやほこりの多い場所、振動や衝撃の加わる場所、スピーカ等の磁気を帯びたものの近くでの保管は避けてください。

⑧製品の分解や改造等は、絶対に行わないでください。

⑨無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重いものを載せることは行わないでください。



## 1-3. 製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。お問い合わせの際には、 巻末の「質問用紙」に必要事項をご記入の上、下記 FAX 番号までお送りください。折り返し弊社よ り電話または FAX、電子メールにて回答いたします。

ご質問に対する回答は、下記営業時間内となりますのでご了承ください。また、ご質問の内容によりましてはテスト・チェック等の関係上、時間がかかる場合もございますので予めご了承ください。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター 〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル TEL 06-6633-6741 月~金 10:00~13:00、14:00~17:00 土曜、日曜および祝日を除く

FAX 06-6633-8285 電子メール:https://ssl.ratocsystems.com/mail/support.html

ホームページで最新の情報をお届けしております。 http://www.ratocsystems.com

個人情報取り扱いについて

ご連絡いただいた氏名、住所、電話番号、メールアドレス、その他の個人情報は、お客様への回答など本件に関る業務のみに利用し、他の目的では利用致しません。



## 2-1. マニュアルの構成

本マニュアルの第2章「準備」からは、SREX-FSU1G/FSU2 指紋センサとセキュリティ認証ソフトウェア OmniPass を組み合わせて使用して頂く上で最初に行う必要がある準備事項について説明を行っています。

第4章「使用」(Windows2000の場合は第7章)では、実際に OmniPass を使って頂くための操作方法について説明を行っています。

第5章「管理と設定」(Windows2000の場合は第8章)では、OmniPassの各種設定項目の解説および運用管理の方法に関する説明を行っています。

本製品をご利用される前に、第2章/第3章(Windows2000の場合は第6章)で説明されている準備 作業を必ず行ってください。

第4章/第7章「使用」および第5章/第8章「管理と設定」で説明されている項目に関しては、ご 使用の目的に合わせて必要となる内容をご参照願います。

本マニュアルは下表のように構成されています。

●第2章 「準備」(Windows 7/Vista/XP/2000/Server2008/Server2003)

2-2.SREX-FSU1G インストール	指紋センサドライバのインストール手順を説明します。
2-3.SREX-FSU2 インストール	指紋センサドライバのインストール手順を説明します。
2-4.Windows ログオンパスワード作成	Windows ユーザアカウント登録手順を説明します。

●第3章「登録」(Windows 7/Vista/XP/Server2008/Server2003)

3-1.0mniPass をインストール	インストール、アンインストール手順を説明します。
3-2.0mniPass ユーザ登録	OmniPass にユーザを登録する方法を説明します。

●第4章 「使用」(Windows 7/Vista/XP/Server2008/Server2003)

4-1.アカウント情報の記憶	ID とパスワードの自動入力機能の使用方法を説明します。
4-2.暗号化と復号化	ファイルとフォルダの暗号化/復号化機能の使用方法を説明
	します。

●第5章「管理と設定」(Windows 7/Vista/XP/Server2008/Server2003)

5-1.ユーザの追加と削除	OmniPass にユーザを追加/削除する方法を説明します。
5-2.アカウント情報の管理	4-1 で記憶したアカウント情報の管理方法を説明します。
5-3.プロファイルのバックアップと復元	エクスポート/インポート機能の使用方法を説明します。
5-4.0mniPass コントロールセンタその	その他の OmniPass 機能を説明します。
他の設定	
●第6章 「登録」(Windows 2000)	
6-1.0mniPass をインストール	インストール、アンインストール手順を説明します。
6-2.0mniPass ユーザ登録	OmniPass にユーザを登録する方法を説明します。

## ●第7章 「使用」(Windows 2000)

7-1.アカウント情報の記憶	ID とパスワードの自動入力機能の使用方法を説明します。
7-2.暗号化と復号化	ファイルとフォルダの暗号化/復号化機能の使用方法を説明
	します。

## ●第8章 「管理と設定」(Windows 2000)

8-1.ユーザの追加と削除	OmniPass にユーザを追加/削除する方法を説明します。
8-2.アカウント情報の管理	7-1 で記憶したアカウント情報の管理方法を説明します。
8-3.インポートとエクスポート	エクスポート/インポート機能の使用方法を説明します。
8-4.0mniPass コントロールセンタその	その他の OmniPass 機能を説明します。
他の設定	

### ●第9章 「付録」

9-1.アプリケーション API	OmniPass 認証用 API を説明します。
9-2.トラブルシューティング	トラブルシューティングについて説明します。



OmniPass 指紋認証登録を行う前に、必ず SREX-FSU1G のインストールを行ってください。

下記は Windows7 でのインストール手順になります。

Windows Vista/Server2008 でのインストールは、18 頁以降の手順を、 Windows XP/2000/Server2003 でのインストールは、21 頁以降の手順に従ってください。

## ■Windows 7 インストール

1

1指紋センサを PC に接続する前に、<br/>製品添付 CD-ROM を CD ドライブへ<br/>挿入し、[CD-ROM¥Win7]フォルダ内<br/>の FSUxSetup.exe を実行します。

ユーザーアカウント制御のメッセー ジが表示される場合は、「はい(Y)」を クリックします。

2 「SREXFSUx Installer セットアップへようこそ」で「次へ( $\underline{N}$ )」をクリックします。





3 「機能の選択」でインストールする センサの画像をクリックします。





5 以上でドライバのセットアップは完 了です。

> 指紋センサを接続すると自動的にド ライバがインストールされます。



6

インストールが正常に行われている か確認する場合は、「スタートボタン」 から「コントロールパネル」を選択し、 コントロールパネルの表示方法を「大 きいアイコン」または「小さいアイコ ン」に切り替えます。

「デバイスマネージャー」をクリッ クします。

「ユニバーサルシリアルバスコント ローラー」の下に、「RATOC SREX-FSU1 FPSensor」が登録され ていればインストールは正常に行われ ています。

ファイル(E) 操作(A) 表示(⊻) ヘルプ(H)
▷ 🦈 ポート (COM と LPT) 🔹
▷ 🕞 ほかのデバイス
▷ 🖑 マウスとそのほかのポインティング デバイス
▷ ■ モニター
🔺 🏺 ユニバーサル シリアル バス コントローラー
🚽 🟺 Intel(R) ICH9 Family USB Universal Host Cc
🚽 🚽 Intel(R) ICH9 Family USB Universal Host Co
🚽 🟺 Intel(R) ICH9 Family USB Universal Host Cc
🚽 🟺 Intel(R) ICH9 Family USB Universal Host Cc
🚽 🚽 Intel(R) ICH9 Family USB Universal Host Co
🚽 🟺 Intel(R) ICH9 Family USB Universal Host Cc
🚽 🛑 Intel(R) ICH9 Family USB2 Enhanced Host 🗐
Intel(R) ICH9 Family USB2 Enhanced Host (
RATOC SREX-FSU1 FP Sensor
USB Root Hub

## ■Windows Vista/Server2008 インストール

 SREX-FSU1G をパソコンの USB

 ポートに接続すると、「新しいハードウ ェアが見つかりました」のダイアログ が表示されます。

> 「ドライバソフトウェアを検索して インストールします(推奨)(L)」の領 域をクリックします。



2 ユーザーアカウント制御の警告メッセ ージが表示される場合は、「続行(<u>C</u>)」 をクリックします。



3 製品添付のドライバ CD-ROM を CDドライブにセットしてください。



4 ドライバソフトウェアが見つかると、下記のような「このデバイスソフトウェアをインスト ールしますか?」というダイアログが表示されます。 「インストール()」をクリックします。



5 「このデバイス用のソフトウェアは正 常にインストールされました」のメッ セージを確認し、「閉じる(C)」ボタン をクリックします。



6

インストールが正常に行われている か確認する場合は、下記の手順で行い ます。

「スタートボタン」から「コントロ ールパネル」を選択し、コントロール パネルの表示をクラシックに切り替え ます。

「デバイスマネージャ」をクリック します。



7 「ユニバーサルシリアルバスコント ローラ」の下に、 「RATOC SREX-FSU1 FPSensor」 が登録されていればインストールは正 常に行われています。



## ■WindowsXP/2000/Server2003 インストール

- 1 SREX-FSU1G をパソコンの USB ポートに接続すると、「新しいハードウ ェアの検出ウィザード」が起動します。 Windows XP の SP2 以降では、最 初に「Windows Update サイト検索」 が表示されますが、「いいえ、今回は接 続しません(T)」にチェックを入れて、 「次へ(N)」をクリックします。
- 新しいハードウェアの検索ウィザードの開始

   新しいハードウェアの検索ウィザードの開始

   お使いのコンピュータ、ハードウェアのインストール CD または Windows Update の Web サイトを検索して (コーサーの7解のもとに) 現在のソフトウ コアねよび更新されたソフトウェアを検索します。 フライバシー ポリーを表示します。

   ソフトウェア検索のため、Windows Update に接続しますか?

   しない、今回のみ接続します(2)

   ・ (ない、今回のみ接続します(2)

   ・ (ない、今回のみ接続します(2)

   ・ (ない、今回のみ接続しませんで)

   ・ (ない、今回のみ接続しませんで)

   ・ (ない、今回は接続しませんで)

   ・ (ない、今回は接続しませんで)

   ・ (ない、うちがらよびデ)バイスの接続中には毎回接続します(2)

   ・ (大へ似) く 欠る(2)

   ・ (本へ似) く 大へい)
- 2 製品添付のドライバ CD-ROM を CDドライブにセットしてください。 「ソフトウェアを自動的にインスト ールする(推奨)(!)」にチェックを入れ て、「次へ(<u>N</u>)」をクリックします。
- 新しいハードウェアの検出ウィザード

   このウィザードでは、次のハードウェアに必要なソフトウェアをインストールします:

   Fingerprint Sensor

   シン

   ハードウェアに付届のインストール CD またはフロッピー ディ スクがある場合は、挿入してください。

   (シントール方法を選んでください。

   シントール方法を選んでください。

   (シントールする 健穏の)

   (ホイロック・フストールする 健穏の)

   (株行するには、D木へ目をクリックしてください。

   く戻る(四) 次へ似 シ

   キャンセル
- ドライバソフトウェアが正しく検出 されると、ハードウェア名「RATOC SREX-FSU1 FP Sensor」が表示さ れます。ここでは、「続行(<u>C</u>)」をクリ ックします。

ለ-ዞሳ፤	アのインストール
⚠	このハードウェア: RATOC SREX-FSU1 FP Sensor
	を使用するためにインストールしようとしているソフトウェアは、Windows XP との 互換性を検証する Windows ロゴ テストに合格していません。 (のテストが重要である理由)
	インストールを続行した場合、システムの動作が損なわれたり、システム が不安定になるなど、重大な障害を引き起こす更因となる可能性があり ます。今すぐインストールを中断し、Windows ロゴ テストに合格したソフ トウェアが入手可能かどうか、ハードウェア ベンダーに確認されることを、 Microsoft は強くお勧めします。
	続行のインストールの停止の

4 ドライバソフトウェアのコピーが開 始します。コピーは自動的に終了しま すので、特に何もする必要はありませ ん。



5 最後に「完了」ボタンをクリックしま す。



インストールが正常に行われている か確認する場合は、下記の手順で行い ます。

6

「スタートボタン」から「コントロ ールパネル」を選択し、コントロール パネルの表示をクラシックに切り替え ます。「システム」をクリックし、「ハ ードウェア」のタブを選択し、「デバイ スマネージャ」をクリックします。

USB コントローラの下に、 「RATOC SREX-FSU1 FP Sensor」が登録されていればインスト ールは正常に行われています。

鳥 デバイス マネージャ	
ファイル(E) 操作( <u>A</u> ) 表示( <u>V</u> ) ヘルプ( <u>H</u> )	
🗉 🖆 😫 🕺 🕿 😹	
∃	<u>^</u>
由 (二) 1394 バス ホスト コントローラ	
田一〇 IDE ATA/ATAPI コントローフ 古 会 USD (Universal Social Due) コントローラ	
Energy USB (Universal Serial Bus//run-7	
Inter(P) 62601EB USB Universal Host Controller - 24D2	
→ Inter(10 02001EB 00B 0niversal Host Controller - 24D4	
Finter(R) 82801 EB USB Universal Host Controller - 24DF	=
KEC PCI to USB Open Host Controller	
🐣 NEC PCI to USB Open Host Controller	
RATOC SREX-FSU1 FP Sensor	
- 🕰 USB ルート ハブ	
ー 🚭 USB ルート ハブ	
ー 🅰 USB ルート ハブ	
ー 🕰 USB ルート ハブ	
ー 🥰 USB ルート ハブ	
😴 USB ルート ハブ	
→ 🙀 USB ルート ハブ	
● 標準エンハンス PULto USB ホスト コントローフ	
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
	~



## 2-3. SREX-FSU2 インストール

OmniPass 指紋認証登録を行う前に、必ず SREX-FSU2 のインストールを行ってください。

下記はWindows7でのインストール手順になります。

Windows Vista/Server2008 でのインストールは、25 頁以降の手順を、
Windows XP/Server2003 でのインストールは、29 頁以降の手順に従ってください。
※ SREX-FSU2 は Windows2000 には対応しておりません。

## ■Windows 7 インストール

1 指紋センサを PC に接続する前に、 製品添付 CD-ROM を CD-ROM ドラ イブへ挿入し、[CD-ROM¥Win7]フォ ルダ内の FSUxSetup.exe を実行しま す。

> ユーザーアカウント制御のメッセー ジが表示される場合は、「はい(Y)」を クリックします。

2 「SREXFSUx Installer セットアップへようこそ」で「次へ( $\underline{N}$ )」をクリックします。





3 「機能の選択」でインストールする センサの画像をクリックします。



「このデバイスソフトウェアをインストールしますか?」で「インストール())」をクリックします。

■ Windows セキュリティ	
このデバイス ソフトウェアをインストールしますか? 名前: RATOC Systems, Inc. 生体認証デバイス	
變」 第行元: RATOC Systems, Inc.	
<ul> <li>"RATOC Systems, Inc." からのソフトウェアを常 に信頼する(<u>A</u>)</li> </ul>	インストール(I) インストールしない( <u>N</u> )
<ul> <li>         ・         ・         ・</li></ul>	ストールしてください。安全にインストールできるデバイスソ

5 以上でドライバのセットアップは完 了です。

> 指紋センサを接続すると自動的にド ライバがインストールされます。



6

4

インストールが正常に行われている か確認する場合は、「スタートボタン」 から「コントロールパネル」を選択し、 コントロールパネルの表示方法を「大 きいアイコン」または「小さいアイコ ン」に切り替えます。

「デバイスマネージャー」をクリッ クします。

「生体認証デバイス」の下に、 「Validity Sensor」が登録されていれ ばインストールは正常に行われていま す。



## ■Windows Vista/Server2008 インストール

**1** SREX-FSU2をパソコンのUSBポ

ートに接続すると、「新しいハードウェ
 アが見つかりました」のダイアログが
 表示されます。

「ドライバソフトウェアを検索して インストールします(推奨)(<u>L</u>)」をクリ ックします。  新しいハードウェアが見つかりました
 不明なデバイスのドライバ ソフトウェアをインストールする必要があります
 ドライバ ソフトウェアを検索してインストールします (推奨)(L) このデバイスのドライバ ソフトウェアをインストールします (推奨)(L) このデバイスのドライバ ソフトウェアをインストールする手順をご案 内します。
 後で再確認します(A) 次回デバイスをプラグ インするときまたはデバイスにログオンすると きに、再度確認メッセージが表示されます。
 このデバイスについて再確認は不要です(D) このデバイスは、ドライバ ソフトウェアをインストールするまでは動 作しません。

2 デバイスのドライバソフトウェアを オンラインで検索しますか? の画面では、

> 「オンラインで検索しません(<u>D</u>)」をク リックします。

7	不明なデバイス のドライバ ソフトウェアをオンラインで検索しますか?
	◆ はい、常にオンラインで検索します(推奨)(A) このハードウェア用の最新のドライバとアプリケーションが自動的に検索され、コンピュー にダウンロードされます。
	◆ はい、今回のみオンラインで検索します(Y) このデバイス用の最新のドライバとアプリケーションが検索され、コンピュータにダウン□ ドされます。
ſ	<ul> <li>オンラインで検索しません(<u>D</u>)</li> <li>最新のソフトウェアが取得されるまでは、デバイスが正しく機能しないことがあります。</li> </ul>
1	Microsoft のブライバシーに関する声明を表示します

3 このデバイス用のドライバソフトウ ェアが見つかりませんでした。 の画面では、 「コンピュータを参照してドライバソ フトウェアを検索します(上級)(<u>R</u>)」 をクリックします。



4 製品添付のドライバ CD-ROM を CDドライブにセットし、「参照(<u>R</u>)…」 をクリックしてください。

		×
0	🔟 新しいハードウェアの検出 - 不明なデバイス	
	コンピュータ上のドライバ ソフトウェアを参照します。	
	次の場所でドライバ ソフトウェアを検索します:	
	F:¥ ▼ 参照( <u>R</u> )	
	☑ サブフォルダも検索する(I)	
	次へ(N) キャンセノ	L ]

5 フォルダの参照画面が表示されます ので、CD-ROM ドライブを選択し、 「OK」ボタンをクリックします。

4	) DVD RW ドライブ (F:) FSUX_20	
	👪 Manual	
Þ	📙 OmniPass	-
D	📕 SDK	E
	Ja WinX64	
	📙 WinX86	

手順4の画面が表示されますので、 「次へ(<u>N</u>)」をクリックします。

6

🎐 🧕 新しいハードウェアの検出 - 不明なデバイス	
コンピュータ上のドライバ ソフトウェアを参照します。	
次の場所でドライバ ソフトウェアを検索します:	
F:¥	▼ 参照( <u>R</u> )

7 ドライバソフトウェアが見つかると、「このデバイスソフトウェアをインストールします か?」というダイアログが表示されます。

「インストール())」をクリックします。

➡ Windows セキュリティ	
このデバイス ソフトウェアをインストールしますか?	
名前: RATOC Systems, Inc. Personal identificati 発行元: RATOC Systems, Inc.	
<ul> <li>"RATOC Systems, Inc." からのソフトウェアを常         に信頼する(A)         インストール(I)         インストール(I)     </li> </ul>	<u>」ない(D</u> )
<ul> <li>         ・         ・         ・</li></ul>	בעבוא

8 「このデバイス用のソフトウェアは正常にインストールされました。」のメッセージを確認し、「閉じる(<u>C</u>)」ボタンをクリックします。

🍚 📱 新しいハードウェアの検出 - RATOC SREX-FSU2 FP Sensor	
このデバイス用のソフトウェアは正常にインストールされました。	
このデバイスのドライバ ソフトウェアのインストールを終了しました:	
RATOC SREX-FSU2 FP Sensor	
	-
	閉じる( <u>C</u> )

インストールが正常に行われている か確認する場合は、下記の手順で行い ます。

9

「スタートボタン」から「コントロ ールパネル」を選択し、コントロール パネルの表示をクラシックに切り替え ます。

「デバイスマネージャ」をクリック します。

10 [Personal identification devices] の下に、

[Validity Sensor]が登録されていれ ばインストールは正常に行われていま す。





## ■WindowsXP/Server2003 インストール

1 SREX-FSU2をパソコンのUSBポ ートに接続すると、「新しいハードウェ アの検出ウィザード」が起動します。 Windows XP の SP2 以降では、最 初に「Windows Update サイト検索」 が表示されますが、「いいえ、今回は接 続しません(T)」にチェックを入れて、 「次へ」をクリックします。



2 製品添付のドライバ CD-ROM を CD ドライブにセットしてください。 「ソフトウェアを自動的にインスト ールする(!)」にチェックを入れて、「次 へ」をクリックします。

 

 新しいハードウェアの後出ウィザード

 このウィザードでは、次のハードウェアに必要なソフトウェアをインストールします:

 USB Device

 シントドウェアに付属のインストール CD またはフロッピー ディ スクがある場合は、挿入してください。

 (シンフトール方法を選んでください。)

 (シンフトウェアを自動的にインストールする「推測の」)

 〇・ワンドウェアを自動的にインストールする「推測の」)

 ※行するには、比水」をクリックしてください。

 く戻る(④) 次へ(⑭)>

3 最後に「完了」ボタンをクリックしま 新しのハードウェアの後出ウィザード す。



インストールが正常に行われている か確認する場合は、下記の手順で行い ます。

4

「スタートボタン」から「コントロ ールパネル」を選択し、コントロール パネルの表示をクラシックに切り替え ます。「システム」をクリックし、「ハ ードウェア」のタブを選択し、「デバイ スマネージャ」をクリックします。

[Personal identification devices] の下に、

[Validity Sensor]が登録されていれ ばインストールは正常に行われていま す。





OmniPass ユーザ登録では Windows ログオン時のユーザ名とパスワードが必要になります。 OmniPass ユーザ登録を行う前に、必ず Windows のログオンパスワードを作成してください。 (下記は WindowsXP での説明画面となります)

1 「スタートボタン」から「コントロールパネル」を選択し、「ユーザアカウント」をクリックします。

2 「変更するアカウントを選びます」か ら、Windows にログオンするときと 同じユーザ名をクリックします。



**3** 「パスワードを作成する」をクリック します。



4 「新しいパスワードの入力」と「新し いパスワードの確認入力」にパスワー ドを入力し、「パスワードの作成(C」を クリックします。

> 作業終了後、メニューバーの「戻る」 をクリックします。



「ユーザのログオンやログオフの方法 を変更する」をクリックします。

⚠

5

Windows7/Vista/2000/Server20 08/Server2003 ではユーザのログ オン・ログオフ方法を変更する機能は ありません。



6 「ようこそ画面を使用する」と「ユー ザの簡易切り替えを使用する」のチェ ックボックスにチェックを入れて、「オ プションの適用(<u>A</u>)」をクリックしま す。



7 ウィンドウの右上にある X ボタンをクリックしてユーザアカウントの設定を終了します。この後、Windowsを再起動します。



※ Windows2000(SREX-FSU1Gのみ対応)でご利用のお客様は(6-1.OmniPass インストール)をご

れます。

ユーザー アカウント制御

### <u>参照ください。</u>

OmniPass のインストール·アンインストールについて説明します。

## ■OmniPass のインストール

 製品付属 CD-ROM の OmniPass¥Win7\_Vista\_XP フォル ダに格納されたセットアッププログラ ム「SETUP.EXE」を起動します。右 のユーザアカウント制御の確認を行 い、「続行(C)」ボタンをクリックしま す。

 ジ ブログラムを続行するにはあなたの許可が必要です
 あなたが開始したプログラムである場合は、続行してください。
 ジ Setup.exe Macrovision Corporation
 ジ 詳細(D)
 焼行(C) キャンセル
 ユーザーアカウント制御は、あなたの許可なくコンピュータに変更が適用 されるのを防ぎます。

※ Windows 7/Vista でユーザアカウント制御

(UAC)が有効になっている場合は、この画面が出力さ

X

OmniPass をインストールするユーザ はシステムに対して管理者権限を持っ ている必要があります。

2 「OmniPas セットアップへようこそ」 の画面で「次へ(N)」をクリックします。





4 インストール先の選択を行います。「次  $(\underline{N})$ 」をクリックします。

## ⚠

ルートディレクトリ(例えば、C:¥) にインストールしないでください。 OmniPassをインストールしたディレ クトリの下層でファイルやフォルダの 暗号化はできません。

5 プラグインの選択を行います。 使用する指紋センサに該当する箇所に チェックを入れ、「次へ(N)」をクリッ クします。

6 OmniPassのインストール実行画面が 表示されます。インストールは自動終 了します。ここでは、何も操作する必 要はありません。

7 「コンピュータの再起動」を選択し、 「完了」クリックします。



OmniPass - InstallShield Wizard	×
プラグインの選択	A A
インストールするプラヴインを選択してください。	
SREK-ESUD Fingerprint Device ☑ SREX-FSUT Fingerprint Sensor	
InstallShield (京る(B) 次へ(	<ul> <li>(S) 全て物F(Q)</li> <li>私)&gt; キャンセル</li> </ul>
SREX-FSUI Fingerprint Sensor - OmniPessによって、システムにブラヴインがインストーノ	されるまでしばらくお待ちください」
SREX-FSU2 Fingerprint Device - OmniPassによって、システムにプラヴィンがインストーノ	されるまでしばらくお待ちください。
ジバイスのドライバのインストール/アップデート_	



8 再起動後、タスクバーに鍵マークの OmniPassコントロールセンタのアイ コンが表示されます。



## ■OmniPassのアンインストール



OmniPassのアンインストールを行うと、OmniPassで暗号化されたファイルは復号化 することができなくなります。また、保存されたパスワードと情報は全て失われます。 アンインストールを行う前に、以下の操作を行うことを推奨します。

(1) 全ての OmniPass 暗号化ファイルを復号化する。

(2) OmniPass ユーザプロファイルをバックアップする。

1 「スタートボタン」から「コントロー ルパネル」を選択し、「プログラムと機 能」をクリックします。



WindowsXP では「プログラムの追加と 削除」を選択してください。



2 インストールされたプログラムの一 覧より「OmniPass 7.xx.xx」を選択し、 「アンインストール」をクリックしま す。


- 3 アンインストール時の警告内容をご 確認頂き、アンインストールする場合は 「次へ(N)」をクリックします。
- 4 アンインストールの最後の確認です。 実行する場合は「はい(Y)」をクリック します。



5 アンインストール完了です。「再起動」 を選択して、「完了」をクリックします。



以上の操作でアンインストール作業は 完了です。



# <u>※ Windows2000(SREX-FSU1G のみ対応)でご利用のお客様は(6-2.0mniPass ユーザ登録)をご参照ください。</u>

OmniPass ユーザ登録では Windows ログオン時のユーザ名とパスワードが必要になります。登録を 行う前に、必ず Windows のログオンパスワードを作成してください。

# ■OmniPass ユーザ登録

OmniPass 登録ウィザードから、「開始」ボタンをクリックします。



2 ユーザ名、ドメイン、パスワードを入力 して、「次へ」をクリックします。

# ⚠

Windows にログオンするときと同じ ユーザ名とパスワードを入力します。 ドメインは通常「コンピュータ名」になり ます。

企業環境、または企業リソースにアクセ スする場合は、**ドメイン**名は、Windows のコンピュータ名ではありません。システ ム管理者にお問い合わせください。

🕝 🦻 ユーザ名と)	《スワードの確認		
	OmniPassアカウント用に低 確認後、OmniPassは同じ イルの管理などの安全なの ユーザ名: ドメインノコンピュータ名: パスワード: コーザブロファイルの	田するWindowsアカウント情報を入力してください。 アカウント証明書を使用して、パスワードや暗号化ファ mniPass機能を発揮します。 test DELL-VISTA (ローカルマシン) ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
セットプ		[次へ]	]

使用する指紋センサを選択して、「次へ」

をクリックします。



認証で使用する指をイラスト上で選択 し、「次へ」をクリックします。

指の選択画面には「練習」ボタンがあり ます。クリックすると、指紋のキャプチャ を練習できます。



5

4

指紋の読み取りを開始します。画面の表示に従って指紋の読み取りを行います。 指紋の読み取りは3回行う必要があります。

読み取りが正常に行われた場合は、指紋 画像が緑色で表示され、失敗した場合は、 指紋画像が赤色で表示されます。

読み取った指紋との確認を行いますの で、もう一度、同じ指の指紋の読み取りを 行います。「認証に成功しました。」と表示 されたら、「次へ」をクリックします。「認 証に失敗しました。」と表示されたら、画 面左上の「←(戻る)」をクリックし、再登 録を行います。



6 「もう1本の指を登録することを推奨します。今すぐ追加で登録しますか?」というメッセージが表示されますので、他の指も登録する場合は「はい(Y)」をクリックします。
手順4の操作に戻り、異なる指で登録操作

手順4の操作に戻り、異なる指で登録操作 を繰り返します。

7 手順3の操作に戻り再登録する場合は、 「その他のセキュリティ認証デバイスの 保存をするオプションを選択して、次に保 存する認証デバイスを選択できるページ に戻ります。」

> にチェックを入れ、「次へ」ボタンをクリ ックします。

次へ進む場合は、

8

T

「セキュリティ認証デバイスの保存が完 了しました。OmniPass 保存の完了に進 んでください。」 にチェックを入れ、「次へ」ボタンをクリ ックします。

サウンドプロンプトの設定、タスクバー ヒントの設定および認証ウィンドウの設 定を行います。設定内容を確認して、「次 へ」をクリックします。

OmniPassが各種のOmniPassイベン トをユーザに通知する方法を選択できま す。OmniPassの操作方法に慣れるまで、 初心者モードのタスクバーヒントおよび サウンドプロンプトをオンにすることを お勧めします。



〇 ⑦ デバイスの()	辞完了 🛛 💌
	認証デバイスの設定保存が完てしました。システムにその他の認証デバイスを 取り付けている場合、そのデバイスもここで保存することができます。OmniPassの 次の動作を選択してください。 その他のセキュリティ認証デバイスの保存をするオブションを選択して、次 に保存する認証デバイスの保存が完てしました。OmniPass(保存の完て)に 進んでください。

🕝 🦻 ユーザ設定	
	コンピュータでの作業時にOmniPessで使用するさまざまなユーザ設定オプションを定義 することができます。 サウンドプロンプト
	WAVファイルによるプロンプト
	◎ システムビーブ音のブロンプト
	サウンドプロンプトなし
	タスクバービントを表示
	③ 初心者モードのタスクバービント
	し 設者モードのタスクパービント
	◎ タスクバービントを表示しない
	認証ウィンドウ設定
	◎ 不透明な認証ウィンドウを表示する
	◎ 一部が透明な認証ウィンドウを表示する
🕗 <#7	次へ

9 作成したユーザプロファイルのバックア ップファイルを保存します。「今すぐバッ クアップ」をクリックします。



バックアップファイルを保存する場所と ファイル名を入力し、「保存(<u>S</u>)」ボタンを クリックします。

ユーザープロファイ	ルのバックアッフ	を名前を付けて	て保存			X
(保存する場所(]):	📰 デスクトップ				* 📰 🔻	
C.	名前	サイズ	種類	更新日時		<u>^</u>
最近表示した場所	test			אפערא, אדי		ш
デスクトップ	<b>₩</b> =>t	21-9		×>>7-0		
1 2)121-9	5C_e ファ・	ncryption (ル フォルダ		FSU2_pic ファイル フォ	ルダ	
ネットワーク	test ファー	ハル フォルダ		5.00.52 OmniPass Im 3.06 KB	iport-Export Us	
	ファイル名(N): ファイルの種類(I):	MyProfile OmniPass,	ユーザープロファイ	/J. (*.opi)	<ul> <li>保存</li> <li>キャン</li> </ul>	F(S) /セル

バックアップファイルのパスワードを入 カし、「OK」ボタンをクリックします。

ハックアッフファイ ユーザープロファイル を設定してください。	フレのバス・フート のバックアップファイルを保護するためのパスワード
注: プロファイルのバッ 安全な場所に保管し	ゥクアップファイルと、ここで設定するパスワードを 、ておいてください。プロファイルを復元する際に ッ面(ちゃくます)
(a, contro-phia	ひ安に/がります。
パスワード:	
パスワードの確認:	
	ок

10 以上でユーザ登録作業は終了です。「完 了」ボタンをクリックします。



### ■OmniPass 認証ダイアログ

Windows を再起動すると、従来の Windows のログオンでは表示されなかった OmniPass 認証ダ イアログが表示されます。これは、OmniPass 認証システムが呼び出されると常に表示されます。 OmniPass 認証システムは、以下の場合に呼び出されます。

- (1) Windows のログオン時
- (2) OmniPass のログオン時
- (3) ワークステーションのロック解除時
- (4) スリープ/スタンバイまたは休止状態からの復帰時(OmniPass とは別に設定が必要です)
- (5) パスワード対応のスクリーンセーバーのロック解除時
- (6) パスワード等を OmniPass に記憶したサイトを開いた時
- (7) ファイルまたはフォルダの暗号化・復号化実行時



OmniPass ログオンダイアログが表示されな い場合は、「9-2.トラブルシューティング」の 「OmniPass ログオン画面が表示されない」 の内容に従って問題を回避してください。

OmniPass 認証ダイアログの プルダウ ンボタンをクリックすると、各指紋センサー と「マスターパスワードの認証」の選択バー が表示されます。

センサーで指をスライドしてください。

右図で各認証方法をクリックすると、選択した認証画面が表示されます。





## <u>※ Windows2000(SREX-FSU1Gのみ対応)でご利用のお客様は(7-1.アカウント情報の記憶)をご参</u> 照ください。

OmniPass アカウント情報の記憶を行うことにより、アカウント入力(ユーザ ID、パスワード)が必要な Web サイトに指紋認証により自動的にログオンすることができます。何種類ものパスワードを覚えておく必要はありません。

OmniPass7.0 が対応しているブラウザは Microsoft Internet Explorer 6.0 以上 / Firefox3.0
 以上です。その他のブラウザでの動作は保証されていません。

# ■Web ログオンパスワードの記憶

アカウント入力を要求する Web サイトが開かれると、OmniPass はアカウント入力が要求されたことを自動検出し、「パスワードを検出しました」というメッセージを表示します。



2 アカウント情報(右の Web サイトでは、ユ ーザのメールアドレスとパスワード)を入力 した状態にします。

# ⚠

アカウント情報(ユーザID、メールアドレス、 パスワード等)にかな漢字コードを使用でき ない場合があります。



3 タスクバーの OmniPass コントロールセン タを右クリックし、右クリックメニューより 「パスワードの記憶(R)」を選択します。



イ 「パスワードの記憶中」が表示された状態 で、OmniPass キー(右図の鍵マーク)をロ グオンプロンプト(アカウント入力ダイアロ グ)の近くにドラッグします。



※ ブラウザが Firefox の場合、パスワード の記憶時に次の「パスワードエントリ」 ダイアログが出力されますので、こちら でパスワードの登録が必要となります。

パスワード	エントリ	
?	Mozillaベースのブラウザでは、OmniPa キストを検出することができません。レ ト用のパスワードを再入力してください	ssはWebサイトに入力されたテ 」下のフィールドに、このWebサイ ^。
<del>,</del>	*****	テキストのマスク解除
	ОК	

5

OmniPass がアカウント情報を記憶す ると、「覚えやすい名前」のダイアログ が表示されます。「覚えやすい名前」を 編集入力し、「完了(<u>O</u>)」ボタンをクリッ クします。

OmniPass に記憶させたアカウント情報は「パスワードの管理」に保管されています。

OmniPass - 覚えやすい名前		
OmniPasalに記憶するよう指示したリスワードボックスを撮影するための「覚えやすい 24前」を入力します。「 覚えやすい 24前」とは、例えば「個人約なクレジットカードのパスワード」のようなものです。 この「覚えやすい24前」は、OmniPasaが自動的にンチスワードを入力できない 場合に、対象のパスワードボックス を撮影けるために使用されます。		
覚えやすい名前: Boogle アカウント - Windows Internet Explorer		
「このパスワード ボックスの設定 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――		
<ul> <li>このパスワード保護されたダイアログが表示されたときに自動的にパスワードを入力します。認     証ブロンプドは表示されません。</li> </ul>		
マーザーの認証後、このパスワード保護されたダイアログの [OK] または (送信) ボタンを自動的 ドレクリックします。		
売7(0) キャンセル		

すでに OmniPass に記憶させた Web サイトに対して「パスワードの記憶」を再実行すると、 OmniPass は現在記憶している Web サイトのアカウント情報(ユーザ ID やパスワード)を上 書き更新します。

例えば、アカウントページのパスワードをXXXXXX で、すでにOmniPass に記憶させてい たとします。ところが、ある日、新しいパスワード:YYYYYY への更新案内が送られてきて、 今後は新しいパスワード:YYYYYY でログオンしなければいけなくなったと仮定します。その 場合、アカウントページにアクセスして、OmniPass にログオンさせる代わりに新しいパスワ ード:YYYYYY を入力します。その後「ログオン」をクリックしないで、パスワードの記憶を 使用してカーソルを OmniPass キーに変え、ログオンプロンプトの近傍をクリックします。 OmniPass は確認を要求し、続いてアカウント情報を上書きします。上記の操作により、 OmniPass に記憶させたユーザID は同じですが、パスワードはXXXXXX から YYYYYY へ更 新されます。

# ■アプリケーションログオンパスワードの記憶

OmniPass はアカウント入力を必要とするホームページ以外に、「パスワードセットアップウィザード」の機能を使って、アカウント入力を必要とする Windows プログラムのアカウント情報も記憶することができます。

1 OmniPass コントロールセンタを起動し、「アカウントの管理」を選択します。「アカウント設定」メニューより、「パスワードウィザード」を選択します。



2 Windows プログラムのアカウント 情報入力画面を「パスワードセットア ップウィザード」の近くに表示させま す。

> 作業が終了したら、「OmniPass にパ スワードを記憶させるダイアログボ ックスを呼び出してください。・・・」 をチェックし、「次へ(<u>N</u>)」をクリック します。

🏦 パスワート	ド記憶サンプル	アプリケー 💌		
企業コード			Windows プロ	コグラム例
ユーザ名				
パスワード				
		コガイン		
パスワードセット	・アップウィザード			X
		OmniPassパスワードセットア 使用するには、パスワードを話 面の隣に他のダイアログと重が	ップウィザードにようこそ! このウィザー 21億させたいダイアログを、このウィザー  36ないように表示してください。	<sup>K</sup> を ◎画
			記憶させるダイアログボックスを呼び出	J.J.J.
		▼ だざい。準備ができたら、2 クリックしてください。	このチェックボックスをクリックしてから、じ:	1^J&
		< 戻る(B	<u> 次へ(N) キャン</u> キャン	

З

4

パスワードセットアップウィザード の「テキスト」欄に適切なアカウント データを入力し、「このキーをドラッ グ」をドラッグし、Windows プロ グラムの該当入力欄の上へドロップ します。 右 Windows プログラムの 例では、最初に企業コードのフィール ド設定を行っています。

Windows プログラムの入力欄へ直 接入力しないでください。

4 一つのフィールドの設定が終了する と右確認メッセージが表示されます。 引き続きフィールド入力を行う場合 は「はい(Y)」をクリックします。 右の例では、企業コードの次に「ユー ザ名」と「パスワード」の設定が必要 です。

> 全ての入力が完了したら、「いいえ (<u>N</u>)」をクリックします。

5 Windows プログラムの名前を「覚え やすい名前」に入力し、「次へ(N)」 をクリックします。







6

Windows プログラムで最後に操作 するボタンを指定します。「このアイ コンをドラッグ」をドラッグし、 操 作するボタンの上へドロップします。 OmniPass への記憶操作は以上で終 了です。「次へ(<u>N</u>)」をクリックしま す。

🏯 パスワート	べ記憶サンプルアプリケー ■※■
企業コード	NKC01503
ユーザ名	ラトックシステム
パスワード	******
	Ŭ
バスリートセットアッ ステップ3. OK/送 ウィザードの第3 [OK]などのボタ	ノノワイサート
تەرى 19-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	テップでは、ダイアログのパスワードフィールドに入力した1後にOmniPassが現取るべきボタンアクシ 設定してください。
() v	スワードフィールドに必要事項を人力した後、OK、法信、その他のユーザー定義ホタンを自動的にかり りします。
パスワードフィー るボタンの上まで 出できない、まま キーボードのEF ォルトのボタンが	ルドにと理事項権入力した後にOmenPassに自動的につりかたせ このがないアインを行っかしていたとい。OmenPassが水なっを検 にはポントを採用したい場合にいます。通常は、ダイアログのデフ のックされたのと同じ結果になります。
	< <p>〈戻る(B) 次へ(M) &gt; キャンセル ヘルノブ</p>

7 「パスワードダイアログをテストし ます」をクリックします。

R	OmniPasaに1(フワードを記憶をせるためのウ、ゲードの手順能、(研究 すです。完了の前に、以下のボウンをからついて登録が内容を編集した り、実験に1くいワード入力動作を行えいしたりできます。テストをしたやうず ると、1くフロードADmniPasa保管側に記憶されますが、実際の入力時 に正しく動作しないとかめのます。テストしてから登録を売了することを お勧めします。
	パスワードスクリプトを手動で編集します
New	





最後に「完了」をクリックします。

**10** 手順7で「パスワードスクリプトを 手動で編集します」をクリックする

集することができます。

と、右スクリプト編集画面が表示され ます。編集が必要な場合は、ここで編

9

パスワードセットアップウィザード		×
OmnPa Tress Cation Settion	sdごパスワードを記憶させるためのウィザードの手順は、度相 完了の前に、以下のボク・タクリックして登録内容を構築し パーレードへのからが見ていたの登録を完了すること ます。 パスワードスクリプトを手動で編集します。 パスワードスクリプトを手動で編集します。	完た/ブロー
Ten	「ハベリートゲイナビレオタ」	
	〈戻る(B) <b>完了</b> キ	*>セル /ルプ
パスワードスクリプトエディ	9	×
このダイアログを使用して、パ す。スクリプトエディタでは、構 編集するフィールドを選択: <名前のないフィールド> <名前のないフィールド> <名前のないフィールド> <名前のないフィールド> <名前のないフィールド> <名前のないフィールド>	スワードの入力時に実行されるスクリプド 文のチェックは行われないことにご注意くだ 1> 2> 3> 4> 7イールドエントリを追加します>	を手動で編集しま さい。 上に移動 下に移動
エントリの削除	1	
フィールドスクリプト:		
<dcc>2,680,750<fv>&lt;</fv></dcc>	SA><#LA>	
フィールド値:		
NKC01503		
	ж キャンセル	

次回より、Windows プログラムのアカウ ント入力が表示されると、OmniPass 指紋 認証ダイアログが表示されます。アカウント 情報を入力する代わりに、OmniPass の指 紋認証だけでログオンすることができます。

2	ユーザーログオンの認証	
() SREX-P	7SU2 指紋センサー	- 0
	センサーで指をスライドしてくたる	ži.
ſ	▲ パスワード記憶サンプルアプリケー	. 🖾
	企業コード	
	ユーザ名	
	パスワード	
	 อังาว	

#### ■ID の管理

ー人の人が同一のWebサイトで複数のアカウントを取得している場合についても、OmniPass にア カウント情報を記憶させて OmniPass 指紋認証機能を使用することができます。複数のアカウントを 管理する場合は、一人のユーザに対して複数のIDを作成し、それぞれのIDに一つのアカウント情報を 設定します。



アクション     アクション     マクション     マクション     マクショーザーのの切り増え     パスワードーのの切り増え     パスワード・     「夜町     ペルブ	メリーの皆理 DDの管理 Sskamoto (既定値)	
<u>ユーザ情報</u> #在のユーザ: sakamoto デメイン: SAKAMOTO-PC バージョン: 5.00.22	デフォルトと 1Dの育塚家	して設定 新規D
ビルド番号: <i>A57520008</i>		変更をすべて保存 🗸

2 「ユーザ名に対する新規 ID」を入力し、 「OK(<u>O</u>)」をクリックします。OmniPass コントロールセンタの設定は以上です。

OmniPass – 新規ID名の入力	
新たに作成するID名を入力してください。	
新規にIDを追加するユーザー名: sakamoto	
sakamoto-2	ך
0K(Q) キャンセル(C)	_

3 同一のWebサイトで複数のアカウント情報を記憶させる場合は、「ログオンパスワードの記憶」を行う前に「ユーザIDの切り替え(S)」を行い、ユーザIDごとに一つのアカウントを記憶させます。 ユーザ IDの変更は、タスクバーの「OmniPass コントロールセンタ」を右クリックし、「ユーザIDの切り替え(S)」を選択します。



- 4 「ID の切り替え」ダイアログより、変更 したい ID を選択します。ID 変更後、ログ オンパスワードの記憶を実行します。
- 5 各ユーザ ID の「パスワード管理」は、 OmniPass コントロールセンタの「アカ ウントの管理」のページの「パスワード管 理」より行うことができます。右の「ID」 を選択することにより、ID ごとに記憶さ れたパスワード情報等が表示されます。

IDの切り替え		×
ユーザー名:	sakamoto	OK( <u>O</u> )
ドメイン	SAKAMOTO-PC	キャンセル( <u>C</u> )
パスワード		
ID:	sakamoto 💌	
	sakamoto sakamoto-2	

<b>アクション</b>	認知 Dの管理 sakamoto-2	
	sakamoto (既定値) デフォルト	として設定
<u>ハーンコン計録</u> パージョン: 5.00.22 ビルド番号: A57520008	IDの肖印除	新規ID 変更をすべて保存 ✔



<u>※ Windows2000(SREX-FSU1Gのみ対応)でご利用のお客様は(7-2.暗号化と復号化)をご参照くだ</u> さい。\_

OmniPass はフォルダ単位・ファイル単位での暗号化と復号化を行うことができます。また、OmniPass 暗号化ファイルは複数の OmniPass 登録ユーザと共有することができます。

# ■暗号化

OmniPass コントロールセンタを起動 し、「ファイルの保護」を選択します。 暗号化を行うフォルダもしくはファイ ルを選択し、「暗号化」をクリックしま す。

⚠

"C:¥Windows" に格納された Windows のシステムファイル、

"C:¥Program Files"にインストール されたプログラム、OmniPass がインス トールされているフォルダは、暗号化す るこができません。



2 暗号化のための認証を行います。



3 暗号化を行うための認証が完了すると 警告メッセージが表示されます。内容を 確認して「OK」をクリックします。



暗号化が行われます。

Δ



5 暗号化を行ったフォルダもしくはファ イルは鍵の付いた新しいアイコンで表示されます。ファイルの拡張子は「.opf」、 フォルダの拡張子は「.opef」に変換されます。



6 暗号化の操作は Windows Explorer から行うこともできます。マウスの右クリックでコンテクスチュアルメニューを表示し、「OmniPass ファイルの暗号化」を選択すると上記と同じ暗号化の操作を行うことができます。



# ■復号化

します。

1 OmniPass コントロールセンタを起動 し、「ファイルの保護」のページを選択

> 復号化を行いたいフォルダもしくはフ ァイルを選択し、「復号化」をクリック します。

> マウスの右クリックでコンテクスチュ アルメニューを表示し、「OmniPass フ ァイルの復号化」を選択して、復号化の 操作を行うこともできます。

	<b>ァイルの保護</b> ファイルの保護	Ĕ.	
🧸 パスワードウィザード	📰 デスクトップ	名前	サイズ 種類
🦉 情報	🕂 🖳 sakamoto	sakamoto	シス
2 ヘルプ	🛓 🍒 パブリック	🚺 パブリック	シス
	▶ 📳 コンピュータ	🌉 コンピュータ	シス
ユーザ情報	由 🔮 ネットワーク	👰 ネットワーク	シス
<u></u>	표 월 파가 메르기	🟉 Internet Explorer	シス
ratamoto	ー C の 相 ToctData on	🧾 コントロール パネル	シス
	H. No restbata. op	00 ごみ箱	シス
SAKAMOTO-PC		TestData.opet	Soft
パージョン:			
ビルド番号:			
		] • [ [ [ ]	P.
	注システムファイルを	音号化できません。	
		暗号化	復号化

2 復号化のための認証を行います。



3 認証に成功すると自動的に復号化が行われます。





- ⚠
- 復号化を行う方法として、Explorer に表示された暗号化ファイル・暗号化フォルダをマウスから直接ダブルクリックする方法があります。

フォルダをダブルクリックすると暗号化フォルダは一旦復号化されますが、フォルダ内の暗号化 ファイルを編集し、フォルダを閉じると暗号化された状態になります。 暗号化ファイルの場合、ダブルクリックで開くと復号化されます。

# ■暗号化ファイルの共有

Windows Explorer からマウスの右ク リックでメニューを表示し、 「OmniPass 暗号化ファイルの共有」を 選択します。

TestDal ef	A.	<b>聞く(O)</b> エクスプローラ(X) プログラムから開く(H) OmniPass ファイルの復号化	
		OmniPass 暗号化ファイルの共有	
		共有(H) 以前のバージョンの復元(V)	
		送る(N) ・	
		切り取り(T) コピー(C)	
		ショートカットの作成(S) 削除(D) 名前の変更(M)	
		プロパティ(R)	

2 暗号化ファイル共有のための認証を行います。



B 暗号化ファイルの共有を行いたい OmniPass に登録されたユーザ名を入 力し、「ユーザの追加」のボタンをクリ ックします。

🥵 ユーザーのテ	聲択 ● ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
OmniPassは、暗号 ォルダを表示、修	化ファイルを他のOmniPassユーザーと共有できるようにします。選択したファイルまたはフ 正、および削除できるようにしたいユーザーを選択してください。
チェック:	SAKAMOTO-PC (ローカルマシン) ・ ユーザーの追加
ユーザー名: `ケのコーザー!†	
SAKAMOTO-PC	Asakamoto
	ユーザーの削除 の化

4 下部の一覧に共有化を許可するユーザ が追加されます。

⚠

🧝 ユーザーの選択
OmniPaselは、暗号化ファイルを他のOmniPassユーザーと共有できるようこします。選択したファイルまたはフォルダを表示、修正、および削除できるようこしたいユーザーを選択してください。
チェック: SAKAMOTO-PC (ローカルマジン) マコーザーの追加
ユーザー名:
次のユーザーは、選択したファイルまたはフォルダを表示、修正、および削除する権限を与えられています。
SAKAMOTO-PC\sakamoto
SAKAMOTO-PC\suzuki
ユーザーの 消除 のK

OmniPass 暗号化ファイルやフォルダを共有すると、共有するユーザとの間で共有されたリ ソースを効果的に制御することができます。一旦共有の許可を行うと、許可されたユーザはすべ てのファイルのコピー・編集を行うことができ、更には OmniPass ユーザのリストから全ての ユーザを排除することができます。許可を与えたユーザが暗号化されたリソースの制御をできな いようにすることも可能となりますので、注意してください。

ファイルの共有を許可されたユーザが復号化の操作を行う場合は、ユーザは OmniPass にロ グオンする必要があります。OmniPass にログオンしていない状態で、ファイルの復号化を行 うことはできません。



②ここの第5章 管理と設定(Windows 7/Vista/XP/Server2008/Server2003)

# 5-1. ユーザの追加と削除

<u>※ Windows2000(SREX-FSU1Gのみ対応)でご利用のお客様は(8-1.ユーザの追加と削除)をご参照</u> ください。

OmniPass ユーザの追加ではユーザ名とパスワードが必要になります。ユーザの追加を行う場合は、 先に追加するユーザ Windows のログオンパスワードを作成してください。

## ■ユーザの追加

- タスクバーに格納された鍵マーク (OmniPass コントロールセンタ)をダ ブルクリックします。
- 2 「登録ウィザードの実行」を選択します。



OmniPass ]	<b>ト</b> ロールセンター
アクション 単 現在のユーザのログアウト ● ユーザー田の切り増え ▲ パスワードウィザード… ● 情報 <sup>●</sup> へいレフ	<ul> <li>パスワードの管理</li> <li>ファイルの保護</li> </ul>
<u>ユーザ情報</u> # 現在のユーザ: sakamoto ドメイン: SAKAMOTO-PC	▲ ユーザー設定の変更 ・システム設定の変更
<u>パージョン詳細</u> パージョン: 5.00.22 ビルド番号: AS7520008	登録ウィザードの実行
	AF AN

3 次に「新規ユーザを OmniPass に追加」 を選択します。

以降の操作は、3-2.0mniPass ユーザ登録で説明されている手順2からに従ってユーザ登録を行います。



#### ■ユーザの削除

ユーザを削除すると、そのユーザに関連付けられた OmniPass データは自動的に破棄されま す。また、そのユーザが暗号化したファイルは復号化できなくなります。 削除を行う前に、以下の操作を行うことを推奨します。

- (1) OmniPass ユーザプロファイルのバックアップを行う。
- (2) 全ての OmniPass 暗号化ファイル・フォルダを復号化する。
- (3) 記憶させた Web およびアプリのアカウント・パスワード情報のメモを取っておく。

OmniPass コントロールセンタを起動 し、「登録ウィザードの実行」を選択し ます。

> 右画面より「OmniPass からユーザを削 除」をクリックします。



NomniPass 🕜 🗴

- 2 削除を行うユーザの指紋認証を行います。
- 3 削除されるユーザ名と警告の内容を確認して、事前に適切な処置を行った後、問題がなければ「OK(<u>O</u>)」をクリックします。

削除完了確認画面が表示されます。

「OK」ボタンをクリックします。





って第5章 管理と設定(Windows 7/Vista/XP/Server2008/Server2003)

5-2. アカウント情報の管理

<u>※ Windows2000(SREX-FSU1Gのみ対応)でご利用のお客様は(8-2.アカウント情報の管理)をご参</u> 照ください。

「ログオンパスワードの記憶」で OmniPass に記憶させたパスワード情報をパスワードの管理で参照 することができます。万が一、パスワードを忘れた場合にも確認できます。

1 OmniPass コントロールセンタを起動 し、「パスワードの管理」を選択します。



2 「パスワードの管理」を開くためには、 右の認証作業を行います。



З

「ボールドの管理」頁を開きます。 「パスワード保護されたダイアログ」 にOmniPassが記憶したWebサイトお よび Windows プログラムの名前が表 示されます。「ユーザ名とパスワード」 に各サイトのアカウント情報が表示さ れます。「値のマスク解除」をクリック してパスワードの内容を確認できます。 また、「ページの削除」をクリックして、 記憶した情報を削除することができま す。

	ボールトの管理
■ 現1日のユーサのロシテンド ■ ユーザー田の切り勝え	4
パスワードウィザード	ID:
有報	sakamoto (既定値)
こうしょう ひんしょう こうしょう ひんしょう ひんしょ ひんしょう ひんしょう ひんしょう ひんしょう ひんしょう ひんしょう ひんしょう ひんしょ ひんしょ ひんしょう ひんしょ ひんしょ ひんしょ ひんしょ ひんしょ ひんしょ ひんしょ ひんしょ	パフロード保護されたダイアログ ユーザタンパフロード
<u>ユーザ情報</u>	Google アカウント - Windows Internel NKC01503
🔒 現在のユーザ:	バスワード記憶サンプルアプリケー ラトックシステム
sakamoto	123430709
SAKAMOTO-PC	
	ページの削除値のマスク
<u>ハニンヨン計編</u> バージョン:	🥅 事前に登録したWebページを表示したときに、認証操作は行わずに
5.00.26	● 動的にバスワードを入力します。
ビルド番号:	<ul> <li>ユーザ認証が正常におこなわれると、選択したバスワードダイアログの の IOK1または (送信) ボタンが自動的にクレックします。</li> </ul>

OmniPass による記憶されたサイトの処理方法には、下記の3つの設定があります。

(1)「事前に登録した Web ページを表示したときに、認証操作は行わずに自動的にパスワードを入力します。」

(2)「ユーザ認証が正常におこなわれると、選択したパスワードダイアログの「OK」または「送 信」ボタンを自動的にクリックします。」

(3) 上記のいずれにもチェックを入れない設定。

4-1.アカウント情報の記憶の手順4で設定した内容が表示されます。

(1)の設定は、あまり安全ではありません。(1)の設定を有効にすると、このサイトに移動 するたびに、OmniPass は認証を要求せずにサイトに自動的にログインします。

(2)の設定にすると、OmniPass に記憶されたサイトを開くたびに、ユーザ認証が要求されます。認証に成功すると、このサイトに自動的にログインします。

(3)の設定にすると、OmniPass に記憶されたサイトを開くたびに、ユーザ認証を要求します。認証に成功すると、サイトの入力位置へアカウント情報(ユーザ ID やパスワード)は自動的に記入されますが、サイトにログインするためには、Web サイトの OK、送信、またはログインボタンをクリックする必要があります。





<u>※ Windows2000(SREX-FSU1Gのみ対応)でご利用のお客様は(8-3.インポートとエクスポート)を</u> ご参照ください。

ユーザプロファイルのバックアップにより、OmniPass に記憶させたサイトのアカウント情報、登録した 指紋データをバックアップすることができます。OmniPass のアンインストールを行う前に、必ずユーザプ ロファイルのバックアップを行ってください。

職場のパソコンで暗号化したファイルを自宅のパソコンに持ち帰って復号化したいというような場合、暗 号化を行ったパソコンでバックアップしたユーザプロファイルを復号化したいパソコンに復元します。

# ■ユーザプロファイルのバックアップ

1 OmniPass コントロールセンタを起動 し、「登録ウィザードの実行」を選択し ます。

> 右画面より「ユーザの OmniPass プロ ファイルのバックアップ」をクリックし ます。



2 バックアップのための認証を行います。



3 バックアップファイルの保存先とファ イル名を設定し、「保存(S)」をクリック します。

ユーザプロファイルの	のバックアップを名前を付けて保存	子		×
(保存する場所(1):	📃 デスクトップ		- + 🖬 🖶	<b>•</b>
œ.	名前	サイズ	種類	更新日時
最近表示した場所	<ul> <li>■ sakamoto</li> <li>↓ パブリック</li> <li>■ コンピュータ</li> <li>● ネットワーク</li> </ul>			
	锅 MyProfile.opi	4 KB	OmniPass Import	2007/02/16 15:55
sakamoto	锅 suzuki.opi	4 KB	OmniPass Import	2007/02/19 19:13
געשעב גערשעב גערשעב				
ネットワーク	•	III		۴
	ファイル名( <u>N</u> ): suzuki ファイルの種類( <u>T</u> ): OmniPassユ	ーザブロファイル (*.:	vpi)	保存(S) キャンセル



# ⚠

このパスワードは復元の際に使用しま すので、必ず他の場所に記録しておくよ うにします。

バックアップファイルのパスワード				
ユーザブロファイルのバックアップファイルを保護するのに使うパスワード を入力してください。				
注: プロファイルのパックアップファイルとこのパスワードを安全な場所 に保管しておいてください。 プロファイルを復元する際にこのパスワー ドが必要になります。				
パスワード:				
パスワードの確認:				
ОК				

# 5

「プロファイルのバックアップ成功」の メッセージが表示されます。「OK」を クリックします。 保存した場所に「xxx.opi」ファイルが 作成されます。



MyProfile.opi OmniPass Import-Export User File 6 KB

# ■ユーザプロファイルの復元

1 OmniPass コントロールセンタを起動 し、「登録ウィザードの実行」を選択し ます。

> 右画面より「ユーザの OmniPass プロ ファイルの復元」をクリックします。

> 同じ名前のユーザが既に登録されてい る場合、プロファイルを復元することは できません。

🛛 🥎 登録ウィザードメコ	Ia
	登録ウィザードを使って実行する機能を選択してください。 ほとんどの機能では、タスク が正常に実行されたときに登録ウィザードが自動的に終了します。
A CONF	🏭 新規ユーザをOmniPassl ご追加
	훥 OmniPassからユーザを削除
	🔐 ユーザのOmniPassプロファイルのバックアップ
	🛃 ユーザの OmniPassプロファイルの復元
	👩 ユーザーのデバイス登録の変更
2 117	完了

2 復元したいユーザプロファイルが保存 されている場所とファイル名を指定し、 「開く(<u>O</u>)」をクリックします。

復元するユーザプロフ	ファイルを開く	1.10	WIR GROUP		×
ファイルの場所()):	📃 デスクトップ				•
Ca.	名前		サイズ	種類	更新日時
	sakamoto				
	퉬 パブリック				
	🌉 コンピュータ				
7,70197	👰 ネットワーク				
	MyProfile.opi		4 KB	OmniPass Import	2007/02/16 15:55
sakamoto	锅 suzuki.opi		4 KB	OmniPass Import	2007/02/19 19:17
コンピュータ					
<u>.</u>					
ネットワーク	•				4
	ファイル名(N):	suzuki.opi		-	間((0)
	ファイルの種類(工)・	OmniPace	ーザブロファイル (* a		キャンクル
	237 138021EX8(T)	10mm ass 7	576777777	φv 📩	

3 ユーザプロファイルのバックアップを 行ったときに設定したパスワードを入 力し、「OK」をクリックします。

バックアップファイル	いのパスワード
ユーザのバックアップ: 力してください。 この クアッププロファイルを	クロファイルを保護するのに使ったパスワードを入 パスワードは、ユーザ情報を復元するためにバッ ロック解除する際に必要になります。
パスワード:	
	ОК

4 ユーザプロファイルのバックアップを 行った時に使用していた「ユーザ名」・ 「ドメイン名」・「パスワード」を入力し て「次へ」をクリックします。

🕝 🐌 ユーザプロ:	ファイルの復元	
	このユーザーブロファ 定した認証情報を使- したプロファイルはこの ユーザー名: ドメイン: パスワード:	イルを復元するユーザー認証情報を入力してください。指 に新しいのmiPassプロファイルが作成され、バックアップ D新しいユーザーアカウンドに復元されます。 Suzuki SAKAMOTO-PC (ローカルマシン 、
		×~

5 「ユーザのインポート完了」メッセージ が表示されます。「OK」をクリックしま す。

OmniPass - ユーザーの復元成功     X
OmniPassはユーザーの復元処理を完了しました。
ОК



第5章 管理と設定 (Windows 7/Vista/XP/Server2008/Server2003) 5-4. OmniPass コントロールセンタその他の設定

<u>※ Windows2000(SREX-FSU1G のみ対応)でご利用のお客様は(8-4.0mniPass コントロールセン タその他の設定)をご参照ください。</u>

OmniPass のその他の設定機能について説明します。

# ■ユーザのデバイス登録の変更

「認証デバイスの登録」は、既に登録されたユーザについて、別の指の指紋データも追加登録したい場合 に使用します。将来、OmniPass で別の認証デバイスが追加サポートされた場合に、「認証デバイスの登録」 よりそのデバイスを登録して、認証に使用することができます。

1 OmniPass コントロールセンタを起動 し、「登録ウィザードの実行」を選択しま す。

> 右画面より「ユーザのデバイス登録の変 更」をクリックします。



2 登録に使用するセンサを選択して、「次 へ」をクリックします。 以後の操作は、3-2.0mniPass ユーザ登 録の3からの手順と同じです。



# ■認証デバイスの必須設定

1 OmniPass コントロールセンタを起動 し、「ユーザ設定の変更」を選択します。 右画面より「ユーザ認証規則とポリシー の設定」をクリックします。



**2** 認証規則の設定のための認証を行いま す。

認証デバイスの必須設定では、

サイトパスワードの置換

の設定を行うことができます。

④ユーザ管理機能

①WindowsとOmniPassへのログオン ②アプリケーションパスワードとWeb

③ファイルとフォルダの暗号化と復号化

を行う際に、それぞれの認証方式(指紋認証/パスワード認証)を必須とするか否か

) SREX-FSU2 指紋センサ				+ C
	センサーで推	をスライドしてくた	it.	
> 認証規則の設定				-?- EX
2020日期の設定 のユーザーに対して要求する話 告:特定の機能に対して認証 い場合は、その機能にアクセス	「証デバイスを、それ デバイスを要求した することはできませ	1ぞれの機能につい 2場合に、その認証 ん。	いて選択します。 デバイスが存在し	こうしょう 💽
2020日期期の設定 のユーザーに対して要求する経 皆:特定の機能に対して認証 い場合は、その機能にアクセス デバイス名	福正デバイスを、それ デバイスを要求した することはできませ Windowsと OmniPassへのロ グオン	いぞれの機能につい 地合に、その認証 ん。 アプリケーション パスワードとWeb サイトバスワード の置換	いて遅択します。 デバイスが存在し ファイルとフォル ダの暗号化と復 号化	<ul> <li>マージー管理機</li> </ul>
● 認証規則の設定 のユーザーに対して要求する経 告:特定の機能に対して認証 い場合は、その機能にアクセス デバイス名 マスター バスワードの認 証	羅デバイスを、それ デバイスを要求した することはできませ OmniPasyへのロ グオン	nぞれの機能につい し場合に、その認証 ん。 アプリケーション パスワードとWeb サイトパスワード の置換	いて違択します。 デバイスが存在しょう ファイルとフォル ダの暗号化と復 号化	? で
<ul> <li>         ・ 認証規則の設定         のユーザーに対して要求する認         ・ 情定の概能に対して認証         ・ い場合は、その機能にプクセス         ・ デバイス名         デバイス名         ・ マスター バスワードの認         証         SREX-FBU2指紋センサー         </li> </ul>	証デバイスを、それ デバイスを要求した することはできませ Windowsと OmniPassへのロ グオン	nそれの機能につい ・場合に、その認証 ん。 アプリケーション パスワードとWeb サイトバスワード の置換	に選択します。 デバイスが存在し ファイルとフォル ダの暗号化と復 号化	<ul> <li>? </li> <li>はいか動作してい</li> <li>ユーザー管理税</li> <li></li> </ul>

OK



3

 Windows XP 環境では、「Windows と OmniPass へのログオン」のオプションは「強力 ログオンセキュリティを有効にする」を選択するまで使用できません。(次ページ参照)
 必須設定として登録されている操作で認証ができない場合、その操作を続行できませんので 「緊急ポリシーオーバーライド機能を有効にする」を有効にすることをおすすめいたします。 (次ページ参照)

詳細情報

# ■強力ログオンセキュリティを有効にする(WindowsXPのみ)

OmniPass コントロールセンタを起動します。

「システム設定の変更」のページを開き、「強力 ログオンセキュリティを有効にする」をクリックし ます。



「強力ログオンセキュリティを有効にする」にチェックを入れると、WindowsXP のログオン画面 でアカウント登録された全てのユーザ表示は行われなくなり、ユーザ名とパスワード入力画面が表示 されるようになります。



## ■緊急ポリシーオーバーライド機能を有効にする

「緊急ポリシーオーバーライド機能を有効にす る」にチェックを入れると、認証が必要な操作で認 証できない場合に、設定した回答を入力することで 認証作業を回避することができます。

#### 設定方法は以下の通りとなります。

「認証規則の設定」ダイアログで「設定」ボタンを クリックします。

デバイス名	Windowsと OmniPassへのロ グオン	アブリケーション バスワードとWeb サイトバスワード の置換	ファイルとフォル ダの暗号化と復 号化	ユーザー管理機 能
マスター パスワードの認				
💮 SREX-FSU2 指紋センサー				
SREX-FSUI指紋センサー				

「認証用の質問と回答を選択」ダイアログが出力 されますので、質問 1~3を選択し、回答 1~3 に 回答を入力します。

「OK」ボタンをクリックします。

○ 認証用の質問と回	塔を選択	
?	OnniParaでは、1/スワードを忘れたり認証デド・ グインできます。認証用の質問と回答を選択し、 グインできない場合にこの質問と回答を選択し、 ない。 質問: (クリックして質問を選択します) (クリックして質問を選択します) (クリックして質問を選択します) (クリックして質問を選択します) (クリックして質問を選択します) (クリックして質問を選択します) (クリックして質問を選択します) (クリックして質問を選択します) (クリックして質問を選択します) (クリックして質問を選択します) (クリックして質問を選択します) (クリックして質問を選択します) (クリックして質問を選択します) (クリックして質問を選択します) (クリックして質問を選択します) (クリックして質問を選択します) (クリックして質問を選択します) (クリックして質問を選択します) (クリックして質問を選択します) (クリックして言いためてきた。 (クリックしてきないます) (クリックして言いためてきた。 (クリックしてきないます) (クリックしてきないます) (クリックしてきないます) (クリックしてきないます) (クリックしてきないます) (クリックしてきないます) (クリックしてきないます) (クリックしてきないます) (クリックしてきないます) (クリックしてきないます) (クリックしてきないます) (クリックして質問を選択します) (クリックしてきないます) (クリックしてきないます) (クリックしてきないます) (クリックしてきないます) (クリックしてきないます) (クリックしてきないます) (クリックしてきないます) (クリックしてきないます) (クリックしてきる) (クリックしてきないます) (クリックしてきないます) (クリックしてきないます) (クリックしてきないます) (クリックしてきる) (クリックしてきないます) (クリックしてきる) (クリックしてきないます) (クリックしてきる) (クリックしてきる) (クリックしてきる) (クリックしてきる) (クリックしてきないます) (クリックしてきないます) (クリックしてきないます) (クリックしてきないます) (クリックしてきないます) (クリックしてきないます) (クリックしてきないます) (クリックしてきないます) (クリックしてきないます) (クリックしてきないます) (クリックしてきないます) (クリックした) (クリックしてきないます) (クリックした) (クリックした) (クリックした) (クリックした) (クリックした) (クリックした) (クリックしてきないます) (クリックした) (クリックした) (クリックしてきないます) (クリックした) (クリックロー) (クリックした) (クリックした) (クリックした) (クリックした) (クリックした) (クリックした) (クリックした) (クリックした) (クリックロー) (クリックロー) (クリックロー) (クリックロー) (クリックロー)	(ストエラーが発生したりしても口 ください。後日、コンピュータエロ 増売づれます。 ボックスにその回答を入力してく           回答::           回答::           回答::
		OK

使用方法は以下の通りとなります。

認証画面の「ログインできません」をクリックしま す。

「緊急ポリシーオーバーライド」ダイアログが出力 されますので、ユーザ名とドメイン名を入力し 「OK」ボタンをクリックします。

	QmniPass 2 ×
2 ユーリーロクオンの設計	ログインできません
③ SREX-FSU2 指紋センサー	• •

緊急ポリシーオー	バーライド				
OmniPassが緊急ポリシーオーバーライドの要求を処理できる ようユーザ名とドメインを入力してください。					
ユーザー名:	administrator				
ドメイン:	TEST-PC				
ОК	++>tll				

設定した回答 1~3 を入力し「OK」ボタンをクリックします。

•	質問1: 初めて飼ったペットの名前は?	*	回答1:
	質問2:		回答2:
	子供のときに好きだった食べ物は?	*	
	質問3:		回答3:
	子供のときに住んでいた町は?	Ŧ	
			and the

# ■OmniPass へのログオン設定

Windows ログオンユーザが OmniPass の機能を使用するためには、OmniPass ヘログオンする必要があります。

OmniPass コントロールセンタを起動します。 右画面より、「システム設定の変更」メニュー を選択し「OmniPass 起動オプションの変更」 をクリックします。



「起動オプション」より 3 種類の OmniPass へのログオン方法を選択することができます。

- (1)現在の Windows ユーザとして OmniPass に自動的にログオンする(デフォルト値)
- (2) 起動時に手動で OmniPass にログオンする
- (3) 起動時に OmniPass にログオンしない



(1)の設定が選択されていると、Windows にログオンした後、Windows 起動後に OmniPass に自動的にログオンします。

(2)の設定が選択されていると、OmniPass は Windows 起動後にユーザに OmniPass にログオン するように要求します。

(3)の設定が選択されていると、OmniPass はユーザに OmniPass にログオンするように要求しません。

タスクバーに登録された鍵マークの OmniPass 上にカーソルを移動することによ り、現在 OmniPass にログオンしているユー ザ名を確認することができます。

同様にマウス右クリックより、「ユーザのログ オン(L)」もしくは「現在のユーザのログアウト (C)」を選択することにより、Windows を起動 したまま OmniPass ログオンユーザを切り替 えることができます。



	開<(O)		
	ユーザーのログオン(L)		
	ユーザーのログアウト(C)		
	ユーザーIDの切り替え(S)		
	パスワードの記憶(R)		
	サーバーへの接続 ヘルプ(H)		
	バージョン情報(A)		
-	終了	 <b>(</b> )	15:15

# ■暗号化/復号化の設定

リックします。

OmniPass コントロールセンタを起動し、「ユ ーザ設定の変更」を選択します。 右画面より「ファイル暗号化設定の変更」をク

× 〇〇〇 〇 OmniPass > ユーザー設定 アクション 🌆 ユーザ設定の変更 👔 現在のユーザのログアウト 🥊 情報 ▶ ユーザオーディオ設定の変更 ▶ ユーザに表示するタスクバービントの変更 <u>ユーザ情報</u> ⇒ 認証ウィンドウ設定の変更 💈 現在のユーザ: → ファイル暗号化設定の変更 sakamoto トメイン: SAKAMOTO-PC ▶ ユーザ認証規則とポリシーの設定 バージョン詳細 ビルド番号:

>RSA Data Security's RC2
>RSA Data Security's RC4
>Data Encryption Standard (DES)
>Two Key Triple DES
>Three Key Triple DES
を選択することができます。上から下の順で暗 号化セキュリティの信頼性は高くなりますが、 暗号化・復号化に要する時間は長くなります。

「アルゴリズムの選択」から、



# ■サウンドの設定

OmniPass コントロールセンタを起動し、「ユー ザ設定の変更」を選択します。 右画面より「ユーザオーディオ設定の変更」をク リックします。



OmniPass のイベント(例えば、ログオン認 証に成功した時、認証が拒否されたときなど)を サウンドでユーザに通知する方法を設定できま す。


# ■タスクバーヒントの設定

OmniPass コントロールセンタを起動し、「ユー ザ設定の変更」を選択します。 右画面より「ユーザに表示するタスクバーヒント の変更」をクリックします。



タスクバーのヒントを表示するという設定に していれば、OmniPassは「パスワードを記憶」 できるタイミングを常に通知しますので、ユーザ にログオンを要求する任意の認証イベントを記 憶することができます。



# ■認証ウィンドウの設定

OmniPass コントロールセンタを起動し、「ユー ザ設定の変更」を選択します。 右画面より「認証ウィンドウ設定の変更」をクリ ックします。



「透明な認証ウィンドウ」を選択すると、認証画 面の透明度を設定することができます。





# <u>※ Windows 7/Vista/XP/Server2008/Server2003 でご利用のお客様は(3-1.OmniPass インストー</u>ル)をご参照ください。

OmniPass のインストール・アンインストールについて説明します。

## ■OmniPass のインストール

1 製品付属 CD-ROM の OmniPass¥ Win2k フォルダに格納された 「SETUP.EXE」を起動します。「よう こそ」の画面が表示されたら、「次へ (N)」をクリックします。

> OmniPassをインストールするユーザ はシステムに対して管理者権限を持っ ている必要があります。

2 使用許諾書の内容をご確認頂き、問題 がなければ「はい(Y)」をクリックします。





3 インストール先の選択を行います。「次 (N)」をクリックします。

⚠

ルートディレクトリ(例えば、C:¥) にインストールしないでください。 OmniPassをインストールしたディレ クトリの下層でファイルやフォルダの 暗号化はできません。



4

「コンピュータの再起動」を選択し、 「完了」クリックします。

 $\land$ 

指紋センサを接続した状態で再起動す ると、Windows ログオン画面に OmniPass の指紋認証ダイアログが表 示されます。この段階では、OmniPass ユーザ登録は完了していませんので、 パスワードを使って Windows ヘログ オンしてください。



	再起動後は OmniPass ユーザ登録
	が完了していませんので、パスワー
Windows A 1774-2	ド入力よりログオンします。
Windows 2000 Professional Professional	
2−#−8(Ψ): [test /<2/7−K(₽)	
送ログオン認証 システムにログオン認証 愛	● → - ザを認証してください。 ★+ンセル 「 A般 館 夢 配 第 5000

			OmniPass コントロー	ルセンタ
5	再起動後、タスクバーに鍵マークの			
Э	OmniPass コントロールセンタのアイ	<b>****</b>	J	<b>≝∢:∰</b> Q, )2:56
	コンが表示されます。			$\bigcirc$

#### ■OmniPassのアンインストール



OmniPassのアンインストールを行うと、OmniPassで暗号化されたファイルは復号化 することができなくなります。また、保存されたパスワードと情報は全て失われます。 アンインストールを行う前に、以下の操作を行うことを推奨します。

- (1) 全ての OmniPass 暗号化ファイルを復号化する。
- (2) ユーザプロファイルをエクスポートする。

 「スタートボタン」から「設定」-「コ ントロールパネル」を選択し、「アプ リケーションの追加と削除」をクリッ クします。

「OmniPass」を選択し、「変更と削 除(<u>C</u>)」ボタンをクリックします。



2 アンインストール時の警告内容をご 確認頂き、アンインストールして問題 がない場合は「次へ(<u>N</u>)」をクリック します。



3 アンインストールの最後の確認です。 実行する場合は「はい(Y)」をクリック します。



4 アンインストール完了です。「再起動」 を選択して、「完了」をクリックしま す。

OmniPass - InstallShield Wizard	
	<b>メンテナンスの完了</b> InstallShield Wizardは、OmniPass上のパンテナンスを完了しました。
	<ul> <li>○ はい、今すぐコピュージを再起動します。)</li> <li>○ いいえ、後でコピュージを再起動します。</li> </ul>
	トラインガルシフロッピーティスクを取り出してから、「完了」本文クをグリックして、 セットアップを終了してください。
	< 戻る(但) 完了 キャンセル

再起動後、インストールされたプログラムの一覧を表示し、
 RATOC FingerPrint Library v4.30
 を選択し、「変更と削除(<u>C</u>)」ボタンをクリックします。



6 削除確認画面が表示されたら「はい (Y)」ボタンをクリックします。 以上の操作でアンインストール作業 は完了です。

RATOC FingerPrint Library v4.30 - InstallShield Wizard	×
RATOC FingerPrint Library を完全(前)除しますか?	



#### <u>※ Windows 7/Vista/XP/Server2008/Server2003 でご利用のお客様は(3-2.0mniPass ユーザ登録)</u> をご参照ください。

OmniPass ユーザ登録では Windows ログオン時のユーザ名とパスワードが必要になります。登録を 行う前に、必ず Windows のログオンパスワードを作成してください。

## ■OmniPass ユーザ登録

OmniPass 登録ウィザードから、「登録」をクリックします。



2

ユーザ名、ドメイン、パスワードを入力 して、「次へ」をクリックします。

# ⚠

Windows にログオンするときと同じ ユーザ名とパスワードを入力します。 ドメインは通常「コンピュータ名」にな ります。

企業環境、または企業リソースにアクセ スする場合は、**ドメイン**名は、 Windowsのコンピュータ名ではあり ません。システム管理者にお問い合わせ ください。



3 「SREX-FSU1 指紋センサー」の指紋 表示を選択して、「次へ」をクリックし ます。

<sup>登録の認証デバイス</sup> <b>冬OmniPass</b>	認証デバイスの選択
	このユーザに登録する認証デバイスを選択してください。 SREX-FSU1指紋センサー
再試行	次へ キャンセル

認証で使用する指をイラスト上で選択 し、「次へ」をクリックします。

指の選択画面には「練習」 ボタンがあり ます。 クリックすると、 指紋のキャプチ ャを練習できます。



5

4

指紋の読み取りを開始します。画面の表 示に従って指紋の読み取りを行います。 指紋の読み取りは3回行う必要があり ます。読み取りが正常に行われた場合 は、読み取った指紋画像が緑色で表示さ れます。読み取りに失敗した場合は、指 紋画像が赤色で表示されます。



6

7

8

手順5で読み取った指紋との確認を行 います。もう一度、同じ指の指紋の読み 取りを行います。「認証に成功しました」 と表示されたら、「次へ」をクリックし ます。「認証に失敗しました」と表示さ れたら、「戻る」をクリックし、手順5 からやり直します。



「少なくとも2本の指を登録すること を推奨します」というメッセージが表示 されたら、「はい」をクリックします。 手順4の操作に戻り、異なる指で登録操 作を繰り返します。

認証デバイスの必須設定をします。設定 内容を確認して、「次へ」をクリックし ます。

⚠

これらの設定により、OmniPass 機能 へのアクセスを制限できます。デフォル トでは、SREX-FSU1G 指紋センサが 接続されていない場合、すべての OmniPass 機能は指紋入力の代わりに ユーザ ID およびパスワードの入力を要 求します。左の設定ボックスにチェック を入れて有効にすると、OmniPass 機 能へアクセスするには、 SREX-FSU1G 指紋センサによる認証

が必須となるように設定されます。

🔲 Omni	Pass登録ウィザード
<b>(</b>	少なくとも2本の指を登録することを推奨します。今すぐ追加で指をもう1本登録しますか?

登録の認証デバイス	
<b>@OmniPass</b>	認証デバイスの必須設定
	認証デバイスによるユーザー認証を必須とするかどうかを設定します。 著告:特定の機能に対して認証デバイスを必須と設定した場合、その 認証デバイスが存在しない物が作していない場合は、その機能にアク セスすることはできません。
	<ul> <li>WindowsとOmniPaseのログオン。</li> <li>アプリケーションパスワードとWebサイトパスワードの置換。</li> <li>ファイルとフォルダの暗号化と復号化。</li> <li>ユーザ管理機能</li> </ul>
再試行	はへ キャンセル

# 9

オーディオとタスクバーの設定をしま す。設定内容を確認して、「次へ」をク リックします。

# ⚠

OmniPassが各種のOmniPassイベン トをユーザに通知する方法を選択でき ます。OmniPassの操作方法に慣れる まで、初心者モードタスクバーのヒント およびサウンドプロンプトをオンにす ることをお勧めします。







 11
 「新規ユーザでログオンしますか?」の

 メッセージが表示されたら、「はい(Y)」

 をクリックします。

以上で指紋の登録は完了です。



12 OmniPass のインストールを完了し再起動すると、従来の Windows のログオンでは表示され なかった OmniPass 認証ダイアログが表示されます。これは、OmniPass 認証システムが呼 び出されると常に表示されます。OmniPass 認証システムは、以下の場合に呼び出されます。

- (1) Windows のログオン時
- (2) OmniPass のログオン時
- (3) ワークステーションのロック解除時
- (4) スタンバイまたは休止状態からの復帰時(OmniPass とは別に設定が必要です)
- (5) パスワード対応のスクリーンセーバーのロック解除時
- (6) パスワード等を OmniPass に記憶したサイトを開いた時

Windows ヘログオン	Microsoft	
	Professional	
ユーザー名(U): [test		
KX9−F@:	OK キャンセル オブションの>>>	OmniPass 認証ダイアログ
	第日クオン 朝証 システムにロヴオンしたいユーザを認証してく	ださい。 キャンセル A AD AD 二 田 G Ges
		A FIX 🕪 🖤 🗠 🧖 KANA



OmniPass ログオンダイアログが表示されない場合は、「9-2.トラブルシューティング」の「OmniPass ログオン画面が表示されない」の内容に従って問題を回避してください。

### ■OmniPass へのログオン

Windows ログオンユーザが OmniPass の機能を使用するためには、OmniPass ヘログオンする必要があります。

OmniPass コントロールセンタを起動し、 「システム設定」のページの「起動オプショ ン」で OmniPass へのログオン方法を選択 することができます。



「起動オプション」では、下記の三種類の設定を選択することができます。

(1) 現在の Windows ユーザとして OmniPass に自動的にログオンする(デフォルト値)

(2) 起動時に手動で OmniPass にログオンする

(3) 起動時に OmniPass にログオンしない

(1)の設定が選択されていると、Windows にログオンした後、Windows 起動後に OmniPass に自動的にログオンします。

(2)の設定が選択されていると、OmniPass は Windows 起動後にユーザに OmniPass にログオン するように要求します。

(3)の設定が選択されていると、OmniPass はユーザに OmniPass にログオンするように要求しません。

タスクバーに登録された鍵マークの OmniPass 上にカーソルを移動することによ り、現在 OmniPass にログオンしているユー ザ名を確認することができます。

同様にマウス右クリックより、「ユーザのログ オン(L)」もしくは「現在のユーザのログアウ

ト(<u>C</u>)」を選択することにより、Windows を 起動したまま OmniPass ログオンユーザを切 り替えることができます。

	OmniPass: ユーザ RATOC がログ	オン中	
🛃 スタート	] ] 🛃	{F <b>&amp;</b> Q_	12:56

圜(( <u>0</u> )	
ユーザーのロ: 現在ユーザー	ブオン(L) ・のログアウト( <u>C</u> ) 切り替え(S)
パスワードの言	699首元(12) 21憶(R)
ヘルプ( <u>H</u> ) バージョン情報	₩( <u>A</u> )
終了	





7-1. アカウント情報の記憶

#### <u>※ Windows 7/Vista/XP/Server2008/Server2003</u> でご利用のお客様は(4-1.アカウント情報の記 憶)をご参照ください。

OmniPass アカウント情報の記憶を行うことにより、アカウント入力(ユーザ ID、パスワード)が必要なウェブサイトに指紋認証により自動的にログオンすることができます。何種類ものパスワードを覚えておく必要はありません。

OmniPass3.0 が対応しているブラウザは Microsoft Internet Explorer 5.0/6.0 です。

その他のブラウザでの動作は保証されていません。

# ■Web ログオンパスワードの記憶

1

1 OmniPass はアカウント入力が要求されたことを自動検出し、「パスワードを検出しました」というメッセージを表示します。 アカウント情報(右のウェブサイトでは、ユーザ名とパスワード)を入力した状態にします。

💋 USB.org - Members - Microsoft I					
ファイル(ヒ) 編集(E) 表示(型) お	6気に入り(A) ツール(T) ヘル	ブ(円)			
+ 戻る • → • ◎ ② ঐ ③	検索 回お気に入り (例メデ	17 3 2-3			
アドレス(D) 👩 http://www.usb.org/r	nembers_landing				▼ ②移動 リンク ※
-USB -OSB	Kome About USB-1	Channel	Press Developers	UNIVERSAL SERIAL BUS	÷
	USB Imp accelerate the the USB-IF he companies int the USB-IF er <u>Compliance P</u>	20-ドの入力 ユーザー名は仅りードを サイト: 報題 ユーザー名(型) パスワードを) IF この/スワードを保存:	入力して代老い。 www.usbore Members するの てK	2)X	
	Individual User names and quick and easy access to only area of the USB-IF w	Is: passwords are now a your USB-IF member ab site. Follow the lini c	vailable for each of our mei activities and will also eni <sup>s</sup> « below to receive your new Sign Up Now	mbers. This will allow you to have nance the security of the members w user name and password! <b>W /X27-F&amp;WLJ&amp;L</b> User (X27-F&7L). X2 USE (X27-F).	
http://www.usb.org/members/					
🏭 スタート 🚮 👘 🥙	USB.org - Members				🍄 <u>A 🧏 💐</u> 1241

2 タスクバーの OmniPass コントロ ールセンタを右クリックし、メニュ ーより「パスワードの記憶(<u>R</u>)」を選 択します。



З

「パスワードの記憶中」が表示され た状態で、OmniPass キー(右図の 鍵マーク)をログオンプロンプト (アカウント入力ダイアログ)の近 くに移動しクリックします。



4

OmniPass がアカウント情報を記 憶すると、「覚えやすい名前」のダ イアログが表示されます。「覚えや すい名前」を編集入力し、「完了(<u>O</u>)」 ボタンをクリックします。 OmniPass に記憶させたアカウン ト情報は「パスワードの管理」に保 管されています。

OmniPass - 覚えやすい名前
OmniPassに記憶するよう指示したバスワードボックスを識別するための「覚えやすい名前」を入力します。た とえば、「覚えやすい名前」とは「個人的なクレジットカード のバスワード」のようなものです。この「覚えやすい名前」は、OmniPassが自動的ロバスワードを入力できない場 合に、バスワードボックスを識別するのに使用されます。
覚えやす」 培証: www.usb.org に接続
このバスワードのサイトの設定
ロ記動時にこのパスワード保護されたサイトに自動的に入ります。認証ブロンプトは表示されません。
□ ユーザが認証されると、このパスワード保護されたサイトの [OK] または [送信] ボタンが自動的に クリックされます。
完了@Cancel

すでに OmniPass に記憶させたウェブサイトに対して「パスワードの記憶」を再実行する と、OmniPass は現在記憶しているウェブサイトのアカウント情報(ユーザID やパスワード) を上書き更新します。

例えば、ウェブサイト www.usb.org のメンバー専用ページのアカウント情報をユーザ ID:RATOC とパスワード:XXXXXX で、すでに OmniPass に記憶させていたとします。と ころが、ある日 usb.org より新しいアカウント情報として、ユーザID:RATOC とパスワード: YYYYYY への更新案内が送られてきて、今後は新しいパスワード:YYYYYY でログオンし なければいけなくなったと仮定します。その場合、usb.org にアクセスして、OmniPass に ログオンさせる代わりに新しいアカウント情報、ユーザID:RATOC とパスワード:YYYYYY を入力します。その後「ログオンOK」をクリックしないで、パスワードの記憶を使用してカ ーソルを OmniPass キーに変え、ログオンプロンプトの近傍をクリックします。OmniPass は確認を要求し、続いて usb.org 用のアカウント情報を上書きします。上記の操作により、 OmniPass に記憶させたユーザID は同じですが、パスワードはXXXXXX から YYYYYY へ 更新されます。

## ■アプリケーションログオンパスワードの記憶

OmniPass はアカウント入力を必要とするホームページ以外に、「パスワードウィザード」の機能を 使って、アカウント入力を必要とする Windows プログラムのアカウント情報も記憶することができ ます。

1 OmniPass コントロールセンタを 起動し、「アカウントの管理」を選 択します。「アカウント設定」メニ ューより、「パスワードウィザード」 を選択します。

JummPass			
ユーザの管理	ユーザ設定	システム設定	アカウントの管理
	0	" and the second second	and and and and
アカウント設定			
● IDの管理 ● パフロードの管理		IDの 管理	
<ul> <li>パスワードの皆理</li> <li>パスワードウィザード</li> </ul>			
			93076SSAMM
	RATUC (就走他	1)	
and the second differences of the second differences of the second differences of the			
		デフォルトとして設	
		デフォルトとして語	Ĩ
	IDOW	デフォルトとして酸	定 新規ID
	IDの調	デフォルトとして酸 除	定 新規ID
	Dの削	デフォルトとして酸酸	定 新規ID
	ПОЛІ	デフォルトとして酸 除 キャンセル	産 新規ID 適用 へルブ

2

Windowsプログラムのアカウント 情報入力画面を「パスワードウィザ ード」の近くに表示させます。 作業が終了したら、「OmniPassで 使用するパスワードダイアログボ ックスを呼び出し、そのダイアログ ボックスをこのウィザードの隣に 配置しました」をチェックし、「次 へ(N)」をクリックします。



З

パスワードウィザードの「テキス ト」欄に適切なアカウントデータを 入力し、「このキーをドラッグ」を マウスでつかみ、Windows プロ グラムの該当入力欄の上で離しま す。 右 Windows プログラムの例 では、企業コード・ユーザ名・パス ワードについて、上記の操作を3回 繰り返します。

Windows プログラムの入力欄へ

直接入力しないでください。

🚵 認証アプリケーション 🛛 🔛	
企業コード 90512 ユーザ名 パスワード	
ステップ1. フィールド値のセットアップ ウィザードの最初のステップは、OmniPassで使用するために設定しているダイアログのフィールドに記入する 値をセットアップすることです。	
OmniPassに必要なテキストを入力し、編集可能なフィールドに必要事項を記入します。次 に、OmniPassキーを実際のフィールドまでドラッグし、そのフィールドにデキストを 入力します。OmniPassボーを入たを自動的に記入するダイアログボックスの各フィールドに対し て、上の手順能緩強り返してください。 注:ダイアログボックスに基づいてアプリケーションのウィザードのみを使用することができます。パスワードのある Webサイトでこのワイザードを使用することはできません。	
テキスト: マスクテキスト スクテキスト このキーをドラクガ しました。	
< 戻る(型) 次へ(型) キャンセル ヘルプ	7

4 全ての入力が完了したら、「私は、 OmniPass に記憶させようとしているダイアログボックスの、すべてのフィールドのセットアップを完了しました。」にチェックを入れて、「次へ(N)」をクリックします。

パスワードセットアップウィザード	X
ステップ1. フィールド値のセットアップ ウィザードの最初のステップは、OmniPassで使用するために設定しているダイアログのフィールドに記入する 値をセットアップすることです。	R
OmniPassに必要なテキストを入力し、編集可能なフィールドに必要事項を記入します。次 に、OmniPassドーを実際のフィールドまでドラッグし、そのフィールドにテキストを 入力します。OmniPassがテキストを自動的に記入するダイアログボックスの各フィールドに対し て、上の手順を繰り返してください。 注:ダイアログボックスに基づいてアナリケーションのウィザードのみを使用することができます。パスワードのある Webサイトでこのウィザードを使用することはできません。	
テキスト:  マスクテキスト  このキーをドラッグ	
■私は、OmniPass(ご記憶させようとしているダイアログボックスの、すべてのフィールドのセットアップを完了しました。	
〈戻る(B) 次へ(11) キャンセル ヘル	1

5

Windows プログラムの名前を「覚 えやすい名前」に入力し、「次へ(<u>N</u>)」 をクリックします。

パスワードセットアップウィザード	×
<b>ステップ2. 覚えやすい名前のセットアップ</b> ウィザードの第2のステップは、OmniPassがWebサイトまたはアプリケーションダイアログを参照する"覚えやす い"名前をセットアップすることです。	<b>%</b>
OmniPassがボールトのこのダイアログを参照する名前を指定すると、ユーザー認証が要求されます。	
憶えやすい名前: 認証アプリケーション	]
ローザー認証なしに、このダイアログ用のパスワードを自動的に記入します。	
( (戻る((1))) ( たゃンセル ( へ)ル:	"

6

7

Windows プログラムで最後に操 作するボタンを指定します。「この アイコンをドラッグ」をマウスでつ かみ、 操作するボタンの上で離し ます。

OmniPass への記憶操作は以上で 終了です。「次へ(<u>N</u>)」をクリックし ます。



「パスワードダイアログをテスト します」をクリックします。

パスワードセットアップウィザード		X
	OmniPassで使用するために、アプリケーションのパスワードダイアログボック スのセットアップをほどんど完了しています。以上下をグリックできます 以下のボタンは設定をテストします。テストをスキップすると、パスワードは OmniPassボールトに入力されますが、正しく作動しないことがあります。	
	パスワードダイアログをテストします	]
hen		_

8 テスト結果に問題がなければ、「はい(Y)」をクリックします。

פגא 🗖	-ドウィザード 🛛 🕅
⚠	パスワードはダイアログボックスに正しく記入されましたか?

最後に「完了」をクリックします。

9



次回より、Windows プログラムのアカウ ント入力が表示されると、OmniPass 指紋 認証ダイアログが表示されます。アカウント 情報を入力する代わりに、OmniPass の指 紋認証だけでログオンすることができます。



#### ■ID の管理

ー人の人が同一のウェブサイトで複数のアカウントを取得している場合についても、OmniPass にア カウント情報を記憶させて OmniPass 指紋認証機能を使用することができます。複数のアカウントを 管理する場合は、一人のユーザに対して複数の ID を作成し、それぞれの ID に一つのアカウント情報を 設定します。



<b>§OmniPass</b>		
ユーザの管理	ユーザ設定 システム設定 アカウントの管理	>>
<b>アカウント設定</b> ● IDの管理 ● パスワードの管理 ● パスワードウィザード	IDの管理	
	RATOC (既定值)	
	<ul> <li>デフォルドとして設定</li> <li>Dの別時</li> <li>新規D</li> </ul>	
	OK         キャンセル         通用         ヘルブ	

2 「ユーザ名に対する新規ID」を入力 し、「OK(<u>O</u>)」をクリックします。 コントロールセンタの設定は以上 です。

OmniPass - 新規ID名の入力	
新たに作成するID名を入力してください。	
ユーザー名に対する新規ID: RATOC	
RATOC2	

3 同一のウェブサイトで複数のアカ ウント情報を記憶させる場合は、 「ログオンパスワードの記憶」を行 う前に「ユーザIDの切り替え(S)」 を行い、ユーザIDごとに一つのア カウントを記憶させます。 ユーザIDの変更は、タスクバーの 「OmniPass コントロールセンタ」 を右クリックし、「ユーザIDの切り 替え(S)」を選択します。



4 「ID の切り替え」ダイアログより、 変更したい ID を選択します。ID 変 更後、ログオンパスワードの記憶を 実行します。



5 各ユーザ ID の「パスワード管理」 は、OmniPass コントロールセンタ の「アカウントの管理」のページの 「パスワード管理」より行うことが できます。右の「ID」を選択するこ とにより、ID ごとに記憶されたパス ワード情報等が表示されます。

<b>¶OmniPass</b>	
ユーザの管理	ユーザ設定 システム設定 アカウントの管理 >>
<ul> <li>アカウント設定</li> <li>Dの管理</li> <li>パスワードの管理</li> <li>パスワードの管理</li> <li>パスワードウィザード</li> </ul>	パスワードの管理
	D: FRATOC2 ・ パスワー <sup>・</sup> 保護されたダイアロダーユーダのとバスワード
	ベージの削除 値のマスク解除
	<ul> <li>事前に登録したWeixージを表示したときに、認証操作は行わずに自動的にパスワードを入力します。</li> <li>ユーザ認証が正常におこなわれると、選択したパスワードダイアログの [OK]まだは「送信」ボタンが自動的にクリックします。</li> </ul>
	OK キャンセル 酒用 ヘルブ





# <u>※ Windows 7/Vista/XP/Server2008/Server2003 でご利用のお客様は(4-2.暗号化と復号化)をご参照ください。</u>

OmniPass はフォルダ単位・ファイル単位での暗号化と復号化を行うことができます。また、OmniPass 暗号化ファイルは複数の OmniPass 登録ユーザと共有することができます。

#### ■暗号化

1 OmniPass コントロールセンタを起 動し、「暗号化と復号化」のページを選 択します。

> 暗号化を行いたいフォルダもしくはフ ァイルを選択し、「暗号化」をクリック します。



"C:¥Windows" に格納された Windows のシステムファイル、 "C:¥Program Files"にインストー ルされたプログラム、OmniPass がイ ンストールされているフォルダは、暗 号化するこができません。

<b>§OmniPass</b>			
<< システム設定	アカウントの管理	暗号化很号化	バージョン情報
	名前	サイズ	種類
☐ ☐ マイ コンピュータ	bitmap1	17KB	ビットマップ イメージ
🚡 🍕 マイ ネットワーク	bitmap2	65KB	ヒットマップ イメーシ
	hitmap4	17KB	ビットマップ イメージ
i 🗀 test	bitmap5	17KB	ビットマップ イメージ
	📉 bitmap6	65KB	ビットマップ イメージ
	🔊 bitmap7	17KB	ビットマップ イメージ
	No itmap8	65KB	ビットマップ イメージ
	▶ bitmap9	10KB	ヒットマッフ イメーシ
<	<		>
注システムファイルを暗号化で	きません。	日音	<b>号化</b> 復号化
	ОК	キャンセル が	師用 ヘルプ

2 暗号化のための認証を行います。



認証に成功すると自動的に暗号化が行

3 <sub>Dnad</sub>



4 暗号化が完了すると警告メッセージが表示されます。内容を確認して「OK」をクリックします。 暗号化を行ったファイルは下図の鍵の付いた新しいアイコンで表示されます。ファイルの拡張子は「.opf」、フォルダの拡張子は「.opef」に変換されます。





5

暗号化の操作は Windows Explorer から行うこともできます。マウスの右 クリックでコンテクスチュアルメニュ ーを表示し、「OmniPass ファイルの 暗号化」を選択すると上記と同じ暗号 化の操作を行うことができます。



## ■復号化

OmniPass コントロールセンタを起

動し、「暗号化と復号化」のページを選択します。

復号化を行いたいフォルダもしくはフ ァイルを選択し、「復号化」をクリック します。

マウスの右クリックでコンテクスチュ アルメニューを表示し、「OmniPass ファイルの復号化」を選択して、復号 化の操作を行うこともできます。

	(2) テスジトップ (2) テスジトップ (2) マイ コンピュータ (3) マイ ネットワーク (4) マイ ネットワーク (5) マイ ホットワーク (5) マイ ホットワーク (5) マイ ホットワーク	名材 マイ ドキュメント マイ コンピュータ マイ ネットワーク ジ ごみ箱 ② Internet Explorer ☆test	サイズ 種類 システム フォルダ システム フォルダ システム フォルダ システム フォルダ システム フォルダ Softex OmniPass En
) 注:47	マテムファイル友暗号化でき	±₩6	

2 復号化のための認証を行います。



3 認証に成功すると自動的に復号化が行われます。



⚠

復号化を行う方法として、Explorerに表示された暗号化ファイル・暗号化フォルダをマウスから直接ダブルクリックする方法があります。ダブルクリックすると自動的に復号化され編集等行うことができますが、一度ファイルを閉じると暗号化された元の状態に戻ります。



## ■暗号化ファイルの共有

Windows Explorer からマウスの右 1 クリックでメニューを表示し、 「OmniPass 暗号化ファイルの共有」 を選択します。



暗号化ファイル共有のための認証を行 2 います。



暗号化ファイルの共有を行うユーザを 3 上部の一覧から選択し、「ユーザの追 加」をクリックします。



ŧP.

R

下部の一覧に共有化を許可するユーザ が追加されます。



OmniPass 暗号化ファイルやフォルダを共有すると、共有するユーザとの間で共有されたリ ソースを効果的に制御することができます。一旦共有の許可を行うと、許可されたユーザはすべ てのファイルのコピー・編集および削除を行うことができ、更には OmniPass ユーザのリスト から全てのユーザを排除することができます。許可を与えたユーザが暗号化されたリソースの制 御をできないようにすることも可能となりますので、注意してください。



4

ファイルの共有を許可されたユーザが復号化の操作を行う場合は、ユーザは OmniPass にロ グオンする必要があります。OmniPass にログオンしていない状態で、ファイルの復号化を行 うことはできません。

# Omni<mark>Pass</mark>



※ Windows 7/Vista/XP/Server2008/Server2003 でご利用のお客様は(5-1.ユーザの追加と削除)を ご参照ください。

OmniPass ユーザの追加ではユーザ名とパスワードが必要になります。ユーザの追加を行う場合は、 先に追加するユーザ Windows のログオンパスワードを作成してください。

# ■ユーザの追加

1 タスクバーに格納された鍵マーク (OmniPass コントロールセンタ) をダブルクリックします。



2 「新規ユーザを OmniPass に追加」 をクリックします。



3 6-2.0mniPass ユーザ登録で説明されている手順2から手順9に従ってユーザ登録を行います。



#### ■ユーザの削除



ユーザを削除すると、そのユーザに関連付けられた OmniPass データは自動的に破棄されます。また、そのユーザが暗号化したファイルは復号化できなくなります。 削除を行う前に、以下の操作を行うことを推奨します。

- (1) OmniPass ユーザプロファイルのバックアップを行う。
- (2) 全ての OmniPass 暗号化ファイル・フォルダを復号化する。

(3) 記憶させた Web およびアプリのアカウント・パスワード情報のメモを取っておく。

OmniPass コントロールセンタを起 動し、「ユーザの管理」のページを選 択します。

「OmniPass からユーザを削除」を クリックします。



2 削除を行うユーザの指紋認証を行います。



3 削除されるユーザ名と警告の内容を 確認して、事前に適切な処置を行っ た後、問題がなければ「OK(<u>O</u>)」を クリックします。







<u>※ Windows 7/Vista/XP/Server2008/Server2003 でご利用のお客様は(5-2.アカウント情報の管理)</u> <u>をご参照ください。</u>

「ログオンパスワードの記憶」で OmniPass に記憶させたパスワード情報をパスワードの管理で参照 することができます。万が一、パスワードを忘れた場合にも確認できます。

1 OmniPass コントロールセンタを起動 し、「アカウントの管理」を選択します。 「アカウントの管理」を開くためには、 右の認証が必要です。



2 「アカウント設定」メニューより、「パ スワードの管理」を選択します。

> 「パスワード保護されたダイアログ」 に OmniPass が記憶したウェブサイ トおよび Windows プログラムの名前 が表示されます。「ユーザ名とパスワー ド」にそれぞれのアカウント情報が表 示されます。

> 「ページの削除」をクリックして、記 憶した情報を削除することができま す。



OmniPass による記憶されたサイトの処理方法には、下記の3つの設定があります。

(1)パスワード保護されたサイトを選択した場合に自動的にアクセスします。認証プロンプトは表示されません。

(2) ユーザが認証されると、選択したパスワードダイアログの「OK」または「送信」ボタン が自動的にクリックされます。

(3) 上記のいずれにもチェックを入れない設定。

デフォルト設定は(2)です。この設定では、OmniPass に記憶されたサイトを開くたびに、 SREX-FSU1G 指紋センサによる指紋認証を要求します。 指紋の本人認証に成功すると、このサイトに自動的にログオンします。(1)の設定は、あまり 安全ではありません。(1)の設定を有効にすると、このサイトに移動するたびに、OmniPass は認証を要求せずにサイトに自動ログオンします。(3)の設定にすると、OmniPass に記憶さ れたサイトを開くたびに、SREX-FSU1G指紋センサによる指紋認証を要求します。本人の指 紋認証を行うと、サイトの入力位置へアカウント情報(ユーザIDやパスワード)は自動的に記 入されますが、サイトにログオンするためには、WebサイトのOK、送信、またはログオンボ タンをクリックする必要があります。



#### <u>※ Windows 7/Vista/XP/Server2008/Server2003 でご利用のお客様は(5-3.プロファイルのバック</u> アップと復元)をご参照ください。

ユーザのエクスポートにより、OmniPass に記憶させたサイトのアカウント情報、登録した指紋データを バックアップすることができます。OmniPass のアンインストールを行う前に、必ずユーザのエクスポート を行ってください。

職場のパソコンで暗号化したファイルを自宅のパソコンに持ち帰って復号化したいというような場合、暗 号化を行ったパソコンでエクスポートしたユーザプロファイルを復号化したいパソコンにインポートする必 要があります。但し、「異なるユーザとしてインポート」をチェックする必要があります。

#### ■ユーザのエクスポート

1 OmniPass コントロールセンタを起動 し、「ユーザの管理」を選択します。「ユ ーザの管理」のメニューから「ユーザ のインポートとエクスポート」を選択 し、「OmniPass ユーザプロファイル のエクスポート」をクリックします。

<b>¶OmniPass</b>				
ユーザの管理	ユーザ設定	システム設定	定 アカ	ウントの管理 >>
<b>ユーザの管理</b> ● ユーザの追加と削除 ● ユーザのインポート/エク スポート	ユーザの	のインポー	-ト/エク	スポート
		新しいユー ポートする	-ザをOnnil	Passにイン
		OmniPass クスポート	ユーザプロ	ファイルのエ
	OK	キャンセル	適用	ヘルプ

2 エクスポートのための認証を行いま す。



3 エクスポートファイルの保存先とファ イル名を設定し、「保存(S)」をクリッ クします。



4 「ユーザのエクスポート完了」メッセ ージが表示されます。「OK」をクリッ クします。



# ■ユーザのインポート

1 OmniPass コントロールセンタを起動 し、「ユーザの管理」を選択します。「ユ ーザの管理」のメニューから「ユーザ のインポートとエクスポート」を選択 し、「新しいユーザを OmniPass にイ ンポートする」をクリックします。

OmniPass に同じ名前で登録されたユ ーザがすでにいる場合、インポートす ることはできません。

2 「OmniPass インポート/エクスポー トファイル」を選択し、「次へ」をクリ ックします。





インポートするファイルを選択し、「開く(<u>O</u>)」をクリックします。



ユーザ名とバスワードの確認

OmniPass用のユーザ ブロファイルをエクスポートしているときに使用したユーザ名。ドメイン、およびパスワードを入力してください。 注:ドメイン名を空白にすると、OmniPassのみで使用するユーザをイン ボートできます。

4 ユーザのエクスポートを行った時に使 用していた「ユーザ名」・「ドメイン 名」・「パスワード」を入力して「次へ」 をクリックします。

> エクスポートを行った時とインポート するユーザの「ユーザ名」・「ドメイン 名」・「パスワード」が異なる場合は「異 なるユーザとしてインポート」をチェ ックしてください。2回目の入力のと きにインポートするユーザの「ユーザ 名」・「ドメイン名」・「パスワード」を 入力してください。

OmniPass インボート ユーザ

**§OmniPass** 

5 「ユーザのインポート完了」メッセー ジが表示されます。「OK」をクリック します。

OmniPas	ss ー ユーザーのインポート完了	X
(į)	OmniPassのユーザーインボートが完了し	ました。
	OK	

 $\land$ 



#### <u>※ Windows 7/Vista/XP/Server2008/Server2003 でご利用のお客様は(5-4.OmniPass コントロー</u> ルセンタその他の設定)をご参照ください。

OmniPass のその他の設定機能について説明します。

# ■認証デバイスの登録

「認証デバイスの登録」は、既に登録されたユーザについて、別の指の指紋データも追加登録したい場合 に使用します。将来、OmniPass で別の認証デバイスが追加サポートされた場合に、「認証デバイスの登録」 よりそのデバイスを登録して、認証に使用することができます。

1 OmniPass コントロールセンタを起動 し、「ユーザ設定」のページの「登録」を選 択し、「認証デバイスの登録」をクリック します。



2 「SREX-FSU1 指紋センサー」の指紋 表示を選択して、「次へ」をクリックしま す。

以後の操作は、6-2.0mniPass ユーザ登録の3からの手順と同じです。



# ■認証デバイスの必須設定

1 OmniPass コントロールセンタを起動 し、「ユーザ設定」のページの「登録」を選 択し、「認証デバイスの必須設定」をクリ ックします。



2 指紋かパスワードで認証を行います。



<b>റ</b>	認証デバイスの必須設定では、				
S	①Windows と OmniPass のログオン				
	②アプリケーションパスワードと Web				
	サイトパスワードの置換				
	③ファイルとフォルダの暗号化と復号化				
	④ユーザ管理機能				
	を行う際に、指紋センサによる認証を必				
	須とするか否かの設定を行うことができ				
	ます。				

 $\land$ 

			認証デバイスの必須設定					
<ul> <li>         ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>								
デバイス名	Windowsと OmniPassのログ オン	アプリケーション バスワードとWeb サイトバスワード の置換	ファイルとフォル ダの暗号化と復 号化	ユーザ管理機能				
SREX-FSU1指紋セ ンサー								
詳細情報 OK キャンセル								

1.「Windows と OmniPass のログオン」の設定を有効にすると、指紋センサによる認証ができなくなった場合、システムにログオンすることができなくなります。

<ul> <li>● 設定が無効の場合 指紋センサが接続されていない場合でも、</li> <li>Windowsログオンパスワードを使ってアクセス することができます。</li> </ul>	<ul> <li>● 設定が有効の場合 指紋センサが接続されていない場合は、下記のメ ッセージが表示され認証を行うことができなくなり ます。</li> </ul>		
ユーザ名: RATOC OK ドメイン: RATOC-1865PERL パスワード: D: RATOC マ	<ul> <li>         ジアイルを暗号化、復号化、または共有するには、このシステムに 存在しない特定のセキュリティデバイスで認証する必要があります。         のmniPasslよ、ファイル暗号化、復号化、または共有操作を続行 できません。         </li> </ul>		

# ■暗号化/復号化

OmniPass コントロールセンタを起動し、「ユ ーザ設定」のページを選択し、「暗号化/復号化」 メニューをクリックします。

「アルゴリズムの選択」から、

➢RSA Data Security's RC2

RSA Data Security's RC4

>Data Encryption Standard (DES)

を選択することができます。上から下の順で暗号 化セキュリティの信頼性は高くなりますが、暗号 化・復号化に要する時間は長くなります。



#### ■サウンド設定

OmniPass コントロールセンタを起動し、「ユ ーザ設定」のページを選択し、「サウンド設定」 メニューをクリックします。

OmniPass のイベント(例えば、ログオン認 証に成功した時、認証が拒否されたときなど)を サウンドでユーザに通知する方法を設定できま す。


# ■タスクバーヒントの設定

OmniPass コントロールセンタを起動し、「ユ ーザ設定」のページを選択し、「タスクバーヒン トを表示」メニューをクリックします。

タスクバーのヒントを表示するという設定に していれば、OmniPassは「パスワードを記憶」 できるタイミングを常に通知しますので、ユーザ にログオンを要求する任意の認証イベントを記 憶することができます。







# 9-1. アプリケーション API

アプリケーションプログラムから OmniPass が提供している指紋認証ダイアログを呼び出し、指紋認証を行うプログラム作成方法について説明します。

# ■OmniPass 認証サンプルプログラム概要

製品付属 CD-ROM の「SDK¥OPValidate」フォルダに、アプリケーションプログラムから OmniPass が提供する指紋認証ダイアログを呼び出してユーザ認証を行うサンプルプログラムが格納 されています。サンプルプログラム OPValidate.exe を呼び出すと下記のダイアログが表示されます。 Main Title 欄に OmniPass 認証ダイアログに表示したい文字列を入力し、User Name 欄に認証を行 うユーザ名をセットします。「認証開始」ボタンをクリックすると、OmniPass 認証ダイアログが表示 されます。OmniPass 認証ダイアログで指紋認証を行うと、認証結果が Result 欄に表示されます。

ComniPass Validate Sample	
OmniPass認証ダイアロ・ Main Title OmniPass認証呼び出 User Name Sakamoto Domain Name Result	がに表示する文字列を入力してください。 サンプルプログラム 認証開始・
Main Title 表示位i	OmniPass 認証ダイアログ OmniPass認証呼び出しサンプルブログラ @OmniPass ③ SREX-FSU2 指紋センサー ・ * *

### ■API 呼び出し方法

アプリケーションから OmniPass の指紋認証機能を呼び出すための準備として、

- (1) OmniPass をインストールします。 ダイナミックリンクライブラリ OP3INTC.DLL は、OmniPass をインストールすると自動的に コピーされます。
- (2) OPINT.LIB ライブラリモジュールをアプリケーションのプロジェクトに追加 スタッティックライブラリ OPINT.LIB は製品添付 CD-ROM の「SDK¥Lib」フォルダに格納 されています。OPINT.LIB をアプリケーションのプロジェクトにコピーし、プロジェクトの設 定より「リンク」ページを開いて、「オブジェクト/ライブラリモジュール(L)」に追加します。
- (3) 製品添付 CD-ROM の「SDK¥Include」フォルダに格納されている「OmniPass.h」をアプリ ケーションのプロジェクトにコピーし、アプリケーションにインクルードします。
- (4) アプリケーションの初期化部分で OP3INTC.DLL が提供する OPGetChallenge()、OPResponse()とOPValidateUser()ファンクションのアドレスを取得します。

以上で、アプリケーションから各 API を呼び出すための準備は完了です。OPValidateUser()の呼び 出しを行うまでのプログラミングフローを次ページに示します。エラー処理等の詳細に関しては、添付 のサンプルソースコード「OPValidate」を参照してください。

プロジュクトの設定	? 🛛
設定の対象(S): Win32 Release ▼ ● 値 OPValidate	<ul> <li>一般 テンバッグ C/C++ リンク リソース Midl ズ ()</li> <li>カテコツ(ゾ: 一般 リセット(E)</li> <li>出力ファイル名(い):</li> <li>Release/OPValidate.exe</li> <li>オフジェクト/ライフ<sup>*</sup>ラリ モジュール(L):</li> <li>opint.lib</li> <li>デジパック*情報を生成する(③) 「 デフォルト ライフ<sup>*</sup>ラリをすべて無視(④)</li> <li>フ*ロファイルを行う(E)</li> <li>MAP ファイルを生成する(M)</li> <li>フ*ロジェクト オフ<sup>*</sup>ション(Q):</li> <li>/nologo /subsystem:windows /incremental:no /pdb<sup>*</sup> Release/OPValidate.exe<sup>*</sup></li> </ul>
	OK ++>>セル

■OmniPass インターフェイスアーキテクチャ







■API インターフェイス仕様

OPValidateUser OmniPass 認証ダイアログ表示
-----------------------------------

PCHAR UserName,	認証ユーザ名
PCHAR authTitle,	認証ダイアログに表示するメインタイトル
PCHAR authSubTitle	_

)

### 引数

UserName	OmniPass 認証を行うユーザ名が格納されているバッファのアドレスを指定
	します。ASCII 文字列の終端は NULL ターミネートとしてください。
authTitle	OmniPass 認証ダイアログのメインタイトルに表示する文字列が格納されて
	いるバッファのアドレスを指定します。
authSubTitle	必ず、NULL を指定してください。

戻り値

この関数は下記の DWORD 値を返します。

OP_RET_USER_VALIDATION_SUCCESSFUL (0)	ユーザが正常に認証されました。
OP_RET_VALIDATE_CALLINGAPP_FAILED (1)	呼び出しアプリケーションが認証されていません。
	OPGetChallenge()/OPResponse()でエラーがないか確
	認してください。
OP_RET_NOT_INSTALLED (2)	OmniPass がインストールされていません。
OP_RET_INSTALLATION_CORRUPT (3)	OmniPass が正しくインストールされていません。
OP_RET_USER_NOT_ENROLLED (4)	指定されたユーザはOmniPassに登録されていません。
OP_RET_USER_VALIDATION_FAILED (5)	ユーザ認証に失敗しました。
OP_RET_GENERIC_ERROR (6)	その他のエラーが発生しました。

解説 OmniPass は指定されたユーザの認証を行います。ユーザ名格納バッファが NULL の場合は、現在
 Windows にログオンしているユーザの認証を行います。
 ユーザ名をセットする場合は、下記のフォーマットで認証を行うユーザの名前を指定してください。
 ローカルユーザの場合: ".¥4ユーザ名"

ドメインユーザの場合: "ドメイン名¥¥ユーザ名"

OPGetCh	allenge	OmniPass 認証初期化 I
ulong opg Pby Pul	ietChallenge ( (TE pBuffer, .ONG pLength	
)		
引数	pBuffer	アプリケーションでアロケーションしたバッファへのポインタをセットします。 NULL 以外の値がセットされた場合は、格納されるデータの場所を示します。
	pLength	ULONG データへのポインタをセットします。pBuffer に NULL がセットされている
		場合は、このパラメータは無視されます。pBuffer に有効な値がセットされてい
		る場合は、pBuffer が示すバッファのサイズをセットしてください。関数が正常

戻り値

この関数は下記の ULONG 値を返します。

ERROR_NONE	(0x0000)	正常終了したことを示します。
ERROR_INTERNAL	(0x00F1)	OmniPass で内部エラーが発生したことを示します。
ERROR_INVALID_PARAM	(0x00F2)	無効なパラメータがセットされたことを示します。
ERROR_INVALID_SIZE	(0x00F3)	指定のパラメータが無効であるか、必要となるサイズ
		を満足していないことを示します。

に終了した場合は、pBuffer に返されたデータのサイズがセットされます。

解説

この関数は OmniPass の認証関数 OPValidateUser ()を使用する前に、手順に従って 2 回呼び出す必要 があります (API 呼び出しフロー図を参照してください)。初回の呼び出しでは、 pBuffer に NULL を セットして呼び出しを行い、 pLength に返される必要バッファのサイズを取得します。その後、 pLength で指定された大きさのバッファを確保し、 pBuffer に確保したバッファへのポインタ、 pLength には確保したバッファサイズをセットし、再度この関数を呼び出します。 関数が正常に終了 した場合は、このバッファに BuildResponse ()に引き渡すデータがセットされます。

OPResponse	OmniPass 認証初期化Ⅱ

ULONG OPResponse (

PBYTE pBuffer,

PULONG pLength

)

### 引数

pBuffer	アプリケーションでアロケーションしたバッファへのポインタをセットします。この
	バッファには BuildResponse()で返されたデータが格納されている必要があります。
pLength	pBuffer に格納された有効データのサイズをセットします。

戻り値

この関数は下記の ULONG 値を返します。

ERROR_NONE (0x0000)	正常終了したことを示します。
ERROR_INTERNAL (0x00F1)	OmniPass で内部エラーが発生したことを示します。
ERROR_INVALID_PARAM (0x00F2)	無効なパラメータがセットされたことを示します。
ERROR_INVALID_SIZE (0x00F3)	指定のパラメータが無効であるか、必要となるサイズ
	を満足していないことを示します。

解説

この関数は OmniPass 認証関数 OPValidateUser ()の初期化処理として使用します。この関数の戻り値 が ERROR\_NONE の場合は、OPValidateUser ()の呼び出しの準備が整ったことを意味します。ERROR\_NONE 以外の場合は、OPValidateUser ()を呼び出すことはできません。

ULONG BuildResponse (

PBYTE pBuffer,

PULONG pLength

)

引数

pBuffer	アプリケーションでアロケーションしたバッファへのポインタをセットします。この
	バッファには OPGetChallenge ()で返されたデータが格納されている必要があります。
pLength	pBufferに格納された有効データのサイズをセットします。OPGetChallenge()で返さ
	れたデータ長をセットしてください。

戻り値

この関数は下記の ULONG 値を返します。

ERROR_NONE (0x0000)	正常終了したことを示します。
ERROR_INTERNAL (0x00F1)	OmniPass で内部エラーが発生したことを示します。
ERROR_INVALID_PARAM (0x00F2)	無効なパラメータがセットされたことを示します。
ERROR_INVALID_SIZE (0x00F3)	指定のパラメータが無効であるか、必要となるサイズ
	を満足していないことを示します。

解説
 この関数は OmniPass 認証関数 OPValidateUser()の初期化処理として使用します。この関数の戻り値が ERROR\_NONE の場合は、レスポンスバッファ pBuffer が正常にビルドされたことを意味します。このバッファは、OPResponse()に引き渡してください。



9-2. トラブルシューティング

指紋センサと OmniPass を使用される際に発生する既知の問題と回避方法について説明します。その 他のご質問に関しては、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

### ■OmniPass ログオン画面が表示されない

### 【現象】

Windows ログオン時に OmniPass 指紋認 証によるログオン画面が表示されない。

WindowsXp Home Edition をご利用されて いる場合に発生する問題です。

### 【回避方法】

OmniPass コントロールセンタを起動し、 「ユーザ設定」のページを選択し、システム設 定の「強力ログオンセキュリティを有効にす る」をクリックします。

右の「強力ログオンセキュリティを有効にする」にチェックを入れ、パソコンを再起動します。



### ■OmniPass ユーザの追加ができない

### 【現象】

OmniPass に Windows ユーザを追加できない。

### 【回避方法】

ローカルのセキュリティ設定を調整する必要 があります。セキュリティ設定を調整するため には、「スタートボタン」から「コントロールパ ネル」を選択し、コントロールパネルの表示を クラシックに切り替えます。「管理ツール」を選 択し、「ローカルセキュリティポリシー」をクリ ックします。

ローカルポリシーを展開し、セキュリティオ プションを展開し、「ネットワークアクセス:ロ ーカルアカウントの共有とセキュリティモデ ル」をダブルクリックします。

右の「ネットワークアクセス:ローカルアカ ウントの共有とセキュリティモデルのプロパテ ィ」ダイアログより、「クラシック – ローカル ユーザがローカルユーザとして認証する」を選 択し、「OK」をクリックします。

⚠

WindowsXP Home Edition ではローカルの セキュリティ設定を調整することはできません。

📴 ローカル セキュリティ設定									
ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)									
	スカシー / フトン・シンド 可能な場合、セキュリティチャネルのデータをデジタ、 コドメイン シンド 電力法 (Windows 2000 かぞれに見なの) (ージョン)、 コドメイン シンド 電力法 (Windows 2000 かぞれに見なの) (ージョン)、 コドメイン シンド 電力法 アカゲントの1/20 ートの含素が開催 コドメイン シンド 常んごをキュリティチャネルのデークをデジタル向います。 コネットワーク アクセン、SAM アカゲントおよび共有の置名の外球を注 コネットワーク アクセン、SAM アカゲントおよび共有の置名の外球を注 コネットワーク アクセン、SAM アカゲントおよび大キの電名の小球 (本) コネットワーク アクセン、マントの空話がたいご愛想情報社な1 KE: コネットワーク アクセン、リモートからアクセスできるレジストリのパス コネットワーク アクセン、リモートからアクセスできるレジストリのパス コネットワーク アクセン、マントの空話がたいご愛想情報社な1 KE: コネットワーク アクセス、リモートからアクセスできるとジストリのパス コネットワーク アクセス・リモートからアクセスできるよどうストリのパス コネットワーク アクセス・リモートからアクセスできるよどうストリのパス コネットワーク アクセス・ビキュッア FRO を含むシテイアント ベース。 コネットワーク どキュリティ にキュア FRO を含むシテイアンド・ベース。 コネットワーク どキュリティ にキュア FRO を含むシード・ベースの コネットワーク どキュリティ にサイン ロボットリーク じょうコーク についてのごう ローク ログローク じょうコーク についてのごう ローク ログロ レビッグ アクローク についてのごう ローク ログロ レビッグ アクローク コーク ログロ レビッグ アクローク コーク ログロ レビッグ アクロ・アクローク コーク ログロ レビッグ アクロ・アクローク コーク ログロ レビッグ アクローク コーク ログロ レビッグ アクローク コーク ログロ レビッグ アクローク コーク ログロ レビッグ アクロ・アクローク コーク ログロ レビッグ ログロ レビッグ アクローク コーク ログロ レビッグ コーク ログロ レビッグ アクローク コーク ログロ レビッグ コーク ログロ レビッグ コーク ログロ レビッグ コーク ログロ レビッグ ログロ レビッグ コーク ログロ レビッグ アクローク コーク ログロ レビッグ コーク ログロ ログロ レビッグ コーク ログロ ログロ レビッグ コーク ログ コーク ログ コーク ログロ レビッグ コーク ログ コーク コーク ログ コーク	<u>セキュリティの設定</u> 有効 無効 30日 有効 素効 SystemiCurrentCon COMNAP.COMNOD. COMNAP.COMNOD. COMCFQDFS\$ 無効 LIMとNTLM応答を 最小なし 最小なし、 新効	<						
	調ネットワーク セキュリティ 必須の署名をしている LDAP クライアント 調回復コンソール: すべてのドライブとフォルダに、フロッピーのコピーと…	ネゴシエーション署名 無効	~						

ネットワーク アクセス: ローカル アカウントの共有とセキュリティ モデルのブ ? 🔀				
ローカル セキュリティの設定				
ネットワーク アクセス: ローカル アカウントの共有とセキュリティ モデル				
クラシック - ローカル ユーザーがローカル ユーザーとして認証する				
OK キャンセル 適用(A)				

## ■ブランクパスワードのユーザを OmniPass に追加できない

### 【現象】

ブランクのパスワードを持つユーザを OmniPass に追加できない。

#### 【回避方法】

ローカルのセキュリティ設定を調整する必要があります。セキュリティ設定を調整するためには、「スタートボタン」から「コントロールパネル」を選択し、コントロールパネルの表示をクラシックに切り替えます。「管理ツール」を選択し、「ローカルセキュリティポリシー」をクリックします。

ローカルポリシーを展開し、セキュリティオ プションを展開し、「アカウント:ローカルア カウントの空のパスワードの使用をコンソー ルログオンのみに制限する」をダブルクリック します。

「アカウント:ローカルアカウントの空のパ スワードの使用をコンソールログオンのみに制 限する」プロパティを開き、「無効」にチェック を入れて「OK」をクリックします。

⚠

WindowsXP Home Edition ではローカルの セキュリティ設定を調整することはできません。 🦻 ローカル セキュリティ設定 ァイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルブ(H 🗈 🛛 🗗 🗟 😰 😼 t?\* コリティの設定 セキュリティの設定 ポリシーン 開体crosoft ネットワーク クライアント 第に通動にデジタル署名を行う 副Microsoft ネットワーク クライアントウード パーティ製の SMB サーバーへのパスワードを、... 副Microsoft ネットワーク サーバー シライアントが同意すれば、通信にデジル場名を行う 調Microsoft ネットワーク サーバー ビッシュスを特許を活動に、ある一 モロアパトが時間を必い 副Microsoft ネットワーク サーバー ビッシュスを特許を活動に、ある一 モロアパードの特徴があ の レーバーロットパーロット 無効 無効 15 分 有効 無効 有効 調アカウント: Administrator アカウント名の変更 Administrato アカウント: Guest アカウントの状態 無効 アカウント: Guest アカウント名の変更 バテム オブジェクト Administrators グループの火ノバによって作成されたオブジェクトの既 バテム オブジェクト Windows システムではないサブシステムのための大文字と小文字へ… バテム オブジェクト 内部のシステム オブジェクトの既定のアクセス許可を強化する(例:… Object creator 有効 有効 無効 有効 無効 無効 無効

アカウント: ローカル アカウントの空のパスワードの使用をコンソール ログ ? 🔀				
ローカル セキュリティの設定				
アカウント: ローカル アカウントの空のパスワードの使用をコンソール ログオンの みに制限する				
<ul> <li>○ 有効(E)</li> <li>○ 無効(G)</li> </ul>				

# RATOC SREX-FSU1G/FSU2 質問用紙

### ●下記ユーザ情報をご記入願います。

法人登録の	会社名・学校名				
方のみ	所属部署				
ご担当者名					
E-Mail					
住所	Ŧ				
TEL			FAX		
製品型番			シリアルNo.		
ご購入情報	販売店名			購入日	

●下記運用環境情報とお問い合わせ内容をご記入願います。

【パソコン/マザーボードのメーカ名と機種名】

【ご利用の OS】

【指紋センサと OmniPass バージョン】

【お問合せ内容】

【添付資料】

1 個人情報取り扱いについて

ご連絡いただいた氏名、住所、電話番号、メールアドレス、その他の個人情報は、お客様への回答など本件に関わる業務 のみに利用し、他の目的では利用致しません。



